平城宮出土墨書土器集成II

奈良国立文化財研究所

国立文化財研究所史料 第31冊

平城宮出土墨書土器集成II

奈良国立文化財研究所

『平城宮出土墨書土器集成Ⅱ』を,奈良国立文化財研究所史料第31冊としてお届けする。

昭和58年に上梓した『平城宮出土墨書土器集成 I』は、幸いにして大変御好評をいただき、各方面において活用されている。今回は、その続編として平城宮跡から出土したもの約1,100点をとりあげた。ほとんどは『集成 I』以後に出土したものであるが、一部前回に報告した分の補遺と、溝辺文一氏のご好意により昭和3年および7年に岸熊吉氏が掘り出した墨書土器を掲載した。

新しくとりあげたものは、すべてまだ報告書を出すに至っていないものである。本来出土遺物の公表は、遺構との関連を充分検討し終えたのち、発掘調査報告書の中でとりあげるのが望ましい。あえて、単独の史料集として出版するのは、木簡をはじめ発掘文字史料が、それ自体としても、平城宮の研究に大変重要な役割を果たすと考えるからで、一日も早く大方の利用に供しようとするものである。したがって、出土遺構の説明はきわめて概括的なものにとどめていることをご了承いただきたい。

今回掲載したものの内容は多岐にわたるが、式部省や兵部省の官衙比定に重要な意味をもつ「式曹」、「兵部」、「兵厨」、また今までの文献史料にはみられない付属機関である「内木工所」など、新たな史料も含まれている。

『集成 I 』を出版したころは、平城宮跡から出土した墨書土器は 2,000 点程度であったが、その後の発掘調査により、 3,000 点をこえるに至っている。 とくに平城宮東方の南北幹線水路である SD2700(通称東大溝)の発掘を数次にわたって実施したことが文字史料の大幅な増加をもたらした。

平城宮跡内の発掘に加えて、最近では、平城京での発掘調査も年々増加し、すでに 1,000 点をこす墨書土器が出土している。 最近話題の長屋王邸跡からも遺跡の性格を検討する上で重要な墨書土器の出土をみるなど、その重要性が高まっている。 これらを含めて、当研究所で保管する墨書土器は 4,000 点をこえ、今後もなお増えつづけるものと考える。

これらは本史料集に引き続き刊行して大方の便に供したいと考えている。別の シリーズで進めている「平城宮木簡」とともに、平城宮研究の史料としていっそ う御活用いただければ幸いである。

平成元年3月1日

奈良国立文化財研究所長

鈴 木 嘉 吉

目 次

第1章	序	言
第2章	上書墨	上器を出土した主な遺構2
第3章	上售墨	_器釈文9
	第4・	6・20・21 次,第22次南・28次11
	第29	• 32次······12
	第322	欠補足,第102・104次13
	第110)・111・120・122次······19
	第128	2次20
	第129	次27
	第133	次29
	第136	次30
	第139	次31
	第140	次35
	第146	· 153 · 154次 ······36
	第155	次42
	第157	次43
	第157	次補足,第164-21次45
	第165	次・167次,溝辺資料46
	図版	• 釈文対照表·······47

墨書土器実測図目次

第1図	第104次調査出土墨書土器49
第2図	第104次
第3図	第104・110・120・122次······51
第4図	第122次52
第5図	第122・128次・・・・・・53
第6図	第128次54
第7図	第128次55
第8図	第128次56
第9図	第128・129次57
第10図	第129・133次58
第11図	第133・136次59
第12図	第136・139次60
第13図	第139次61
第14図	第140・146・154次62
第15図	第139・154・155次63
第16図	第157・165次64
第17図	第157次・溝辺資料65

凡 例

- 1 釈文はすべて横書き 1 行に書きあらため,原文字の改行は/をもって示した。重ね書きも改行と同じあつかいとした。ただし,内外両面に墨書のあるものは 2 行にわけて記した。
- 2 翻字にあたっては、原則として現行の常用漢字をもってした。ただし、一部本字を用いたものもある。
- 3 釈文は調査次数の順に、遺構ごとにまとめて掲載した。同一遺構の発掘次数が数年にわたる ものも次数ごとにわけて掲載した。
- 4 まず調査次数をかかげ、遺構ごとにまとめて釈文をかかげた。釈文の次行には土器の種類、 器種、記載位置および備考を注記した。
- 5 残画があるものの、釈読不能のものは□で示し、残画から文字が推定できるものは〔〕を用いて□の上に記した。
- 6 異筆がある場合は「 」, 異筆が数種ある場合は「 」(1), 「 」(2)として記した。
- 7 多数の文字が習書,楽書されている場合には,文字の種類のみかかげ,同一文字については 注記のみとし省略した場合がある。
- 8 十もしくは×のいずれか判断できないものについては、釈文の表記は、×で統一した。
- 9 土器の機種については『平城宮発掘調査報告 XI』(『奈良国立文化財研究所学報』第40冊)を参照されたい。 第2章の遺構概説中,平城宮瓦編年とあるのは,『奈良国立文化財研究所基準資料』 I ~ K (瓦編 1 ~ 9),平城宮土器編年とあるのは,『平城宮発掘調査報告 WI』(『奈良国立文化財研究所学報』第26冊)にもとづく。
- 10 すでに報告ずみの調査次数の末尾に記した『学報』番号は、次の平城宮発掘調査報告書にあたる。

『学報15』 『平城宮発掘調査報告Ⅱ』

『学報26』 『平城宮発掘調査報告W』

第1章 序 言

この資料集は、『平城宮出土墨書土器集成 II』として編集したものである。 すでに上梓している『集成 I』の続編をなすもので、本集成では総数1,145点を掲載した。うちわけは、第104次調査以降に出土した墨書土器1,088点に加えて、『集成 I』で掲載できなかった50点を補遺として掲げた。また昭和3年と昭和7年に岸熊吉氏が発掘し、現在溝辺文一氏の保有するもの7点を氏のご好意により掲載した。

平城宮内から出土している墨書土器の総数は、昭和63年度までで、3,000点近くになっている。 平城京での原因者負担に伴う発掘調査で出土したものも、すでに 1,000点をこえる。『集成 I 』 と本集成で報告するものを合わせてもようやく半数をこえた程度である。

本集成も『集成 I』と同様,文字が読めなくても残画のあるものについてはできるだけ載せる方針をとっている。墨書内容は,官衙名,人名,器名,習書,記号,数字,絵画など,やはり多岐にわたり,また字数も2字以上のものから1字だけのものなどさまざまである。したがって全体をまとめて一律に論ずることは難しいが,官衙やその付属機関を示す墨書が比較的まとまって出土するなど,地域を限れば,現段階でも意義づけのできるものがあるのも事実である。式部省,兵部省関係のものをはじめ,民厨,蔵人所,などがこの例である。

墨書される土器の種類と器種も多彩であるが、量的な比率を見ると、杯皿類に集中している。 鉢・盤まで加えた供膳用食器に書かれた数は、全体の95%以上を占める。平城宮内出土土器の 器種別比率は、ふつう、食器が70%前後で、貯蔵・煮沸用の壺甕類でも30%程度は占める。推 定第一次大極殿前庭の前面に立つ楼閣SB7802出土の土器は、建物の特殊な性格から食器の比 率が格段と高いが、それでも87%程度である。墨書土器の器種別比率が、供膳用食器に一段と 偏っていることを示すものであろう。

また年紀の入ったものはきわめてまれだが、なかに天平18年の年紀があるものなど土器の編年を考える上できわめて貴重なものもある。

本資料集の作成は、平城宮跡発掘調査部考古第二調査室と史料調査室が共同して行なったものである。墨書土器の発掘と資料作成過程における討議には調査部の全員があたった。

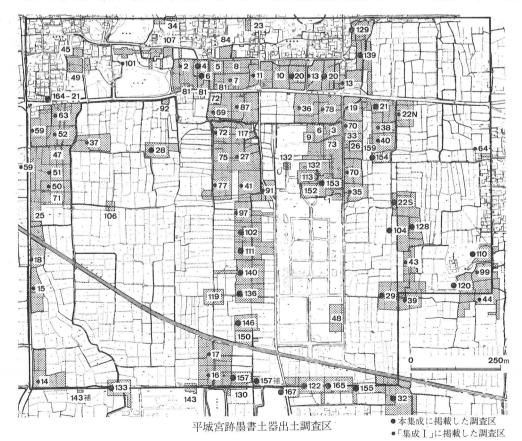
釈文の作成は、おもに鬼頭清明(現東洋大学教授)が担当し、史料調査室の綾村宏、寺崎保宏、橋本義則、村上隆、舘野和己(現奈良市教育委員会文化課長)それに歴史研究室の加藤優がこれを助けた。原稿の執筆、編集の実務は、考古第二調査室の千田剛道、巽淳一郎、玉田芳英の協力のもと、はじめ山崎信二(現文化庁記念物課)が担当し、のちに田辺征夫が引き継いだ。写真撮影は佃幹雄、八幡扶桑があたった。また、実測図などの作成には、小池やよい、葉敦子、大野佳子、南本忍が、コロタイプ用図版の作成には杉本和樹、松田佐由里が協力した。

第2章 墨書土器を出土した 主な遺構

墨書土器は、ほぼ平城宮の全域から出土するが、その大半は溝からである。ほかには土壙、井戸などからも出土し、包含層からの出土数も多い。ここでは、比較的まとまって墨書土器の出土した遺構を中心に概略を述べることとする。

SD1250 平城宮南面の外堀で、同時に二条大路北側溝をかねる。ほかの溝と合流するところでは極端に広く、また深くなっているが、それ以外のところでの平均的な大きさは、上端で幅 $3\sim4$ m、深さ $0.9\sim1.2$ mである。随所に杭とシガラミによる護岸が認められ、壬生門(南面東門)の前面では、石積による護岸がおこなわれていた。ここではまた、奈良時代後半に、溝の堆積土を除去することなく埋めたて、通路としていることもわかっている。若犬養門(南面西門)の前面では、橋脚を確認した。墨書土器は、第32次、第122次、第133次、第155次、第165次の各調査区で出土しているが、『集成 I 』に報告した第32次調査(41点)と、本『集成 I 』にかかげた第133次調査での若犬養門前面(51点)に出土量が集中し、「雅楽」のほか、「厨菜」など「厨」関係のものがまとまって出土している。

SD2700 内裏東外郭官衙と東方官衙群の間を南流する南北溝で、平城宮の幹線水路と考えるものである。昭和3 (1928)年と同7 (1932)年に奈良県技師岸熊吉氏によって確認され、平城

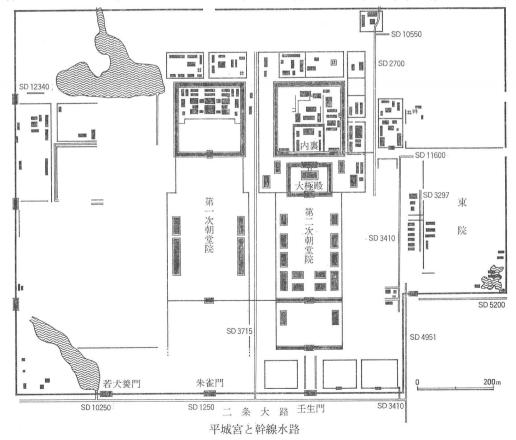


宮跡発掘調査部でも第21次調査以来,第129次,第139次,第154次と数次にわたる調査を実施して,溝の規模と構造を明らかにしてきた。溝の大きさは,北の方の第129次と第133次調査区では,上端で幅約2m,下端で0.9m,深さ1.4mであるが,南の方の第154次調査区では,幅6m前後に広がり,深さも2.2mある。溝は,奈良時代当初はすべて素掘りと考えられるが,養老年間頃より一部に石積の護岸が施される。護岸の状況をみると,第129次調査区で確認した北端部はすべて素掘り,第139次調査区の途中から南は両岸とも約30cm大の河原石で護岸,第21次調査区の南端から第154次調査区にかけては東側だけ護岸,そして東の塼積官衙の終わるあたりで東岸の護岸もなくなる。このことから石積の護岸は,内裏の東側あたりに限られていたものと考えられ,西側の護岸については抜き取られた可能性もある。

第139次調査区では、溝の北端を確認している。ここでは奈良時代当初にはおそらく水上池から西南にかけて流れる細い斜溝にはじまり、南折して真直ぐに南へ流れていたが、天平年間に大幅に東につけかえている。溝の堆積土は、5~6層に分かれ、各層とも土器、瓦、木器、木簡、金属製品など多彩な遺物が大量に含まれていた。さながら平城宮における遺物の宝庫の観を呈している。墨書土器もすべての調査区で出土しており、今回報告するものだけでも、331点と最も多い。中に、「天平18(746)年11月20日」の年紀の入ったもの(522)もある。

本集成には,『集成 I 』で報告済みの第21次調査の補遺も加えた。 なお, 岸熊吉氏が調査したときに出土した遺物の一部は,溝辺文一氏が保管しているが, これについても,氏のご好意によりあわせて再掲載させていただいた。

SD3109 東院の西を限る南北築地塀の東雨落溝である。第128次調査で検出した。溝幅は約10.7m で,西岸は径13.0 cm の丸太を半裁した杭を打ち,この外側に側板を落としこんで護

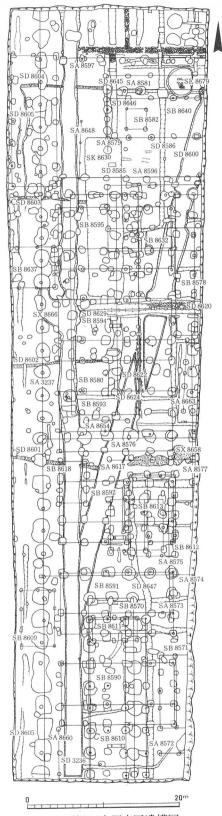


岸としている。底には全面に玉石を敷く。木簡をはじめ、大量の土器が出土しているが、食器類の多いのが目立つ。年代的には奈良時代後半のものである。墨書土器は、「造宮」、「供養」、「菓子」など87点が出土した。

SD3113 東院地区西方の南北溝で、一部斜行する。第22次南調査区でも確認しているが、今回報告するのは第128次調査で検出したものである。 溝幅2.0m、深さ0.8mで、上下2層に分かれる。 東側をほぼ平行して流れるSD9620(後述)を西へつけかえたもの。溝中より、「天平勝宝」の木簡が出土しているので、この時期まで存続していたものと思われる。墨書土器は、25点。

SD3236 東院地区の西端を流れる,素掘りの南北溝である。第22次南調査区(『集成 I 』で報告済み)と第104次調査区で確認した。溝は3時期に分かれ,下層と中層は溝幅約2m,深さ0.6m,上層はやや小さく,溝幅0.9m,深さ0.15mである。下層溝の西岸には,一部木杭による護岸がある。各層とも実年代には大きなへだたりはなく,奈良時代後期の溝である。下層,中層の溝中からは,「天平勝宝」から「宝亀6年」までの紀年木簡8点をはじめ,多量の木簡,土器,瓦が出土した。土器は,大部分が平城宮土器編年のV,軒瓦は,平城宮瓦編年Ⅲ期に属する。墨書土器は,129点と多いが,大半が中層の出土である。

SD3410 平城宮東部の南北幹線水路である。 第22次南,第29次,第154次,第155次の各調査区 で確認した。大極殿後殿の東方約230m付近で, 東からくるSD11600(後述)が直角に折れ,SD 3410となって東院張り出し部との境を南流し,平 城宮東南隅で,南外堀であるSD1250に合流する。 溝幅は,北の方(第154次)では,4~5mであるが, 南の方(第155次)では,約9mに広がる。深さ は,1~1.3mある。護岸の施設は,上流では西岸

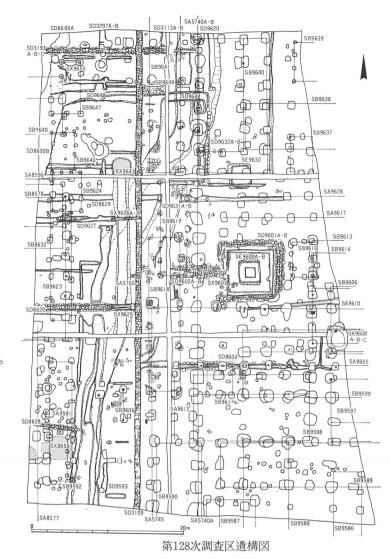


第104次調査区遺構図

だけに約50 cm 大の玉石積を設けていて, $2\sim5$ 段が遺存していた。 しかし当初は素掘りとみられ,後に西岸を改修して玉石積にし,東岸は木杭で護岸している。西岸の玉石積も南では木杭になる。玉石積への改修の時期は,裏ごめに平城宮瓦編年III期の軒瓦6282G・6721Dなどが

含まれているので、この頃と思われる。溝の層位は大きく上下2層に分かれる。北端の第154次調査区では、下層から和同開珎、万年通宝、神功開宝の奈良時代の貨幣とともに、天平16(744)年の紀年木簡が出土している。しかし南端の第155次調査区出土の土器全体の年代観からは、両層とも8世紀後半から9世紀前半のものである。

出土墨書土器数は, 『集成 I』に掲載した 第29次調査の140点が 最も多く,今回は第22 次南と第29次の補遺を 加えても35点である。 「相模国」,「日置部」 などがある。



SD3715 推定第一次朝堂院と第二次朝堂院との間を流れる南北幹線水路である。第27次,第41次,第97次,第102次,第111次,第136次,第140次,第146次,第157次,第157次補足,の各調査区で検出した。今回,報告するのは,第102次調査以降に出土したものである。溝は上,中,下の3層に分かれ,奈良時代全般を通じて存続するが,中頃に下層を埋めた後,中層の溝は西へ寄せてつくっている。上層は奈良末に中層を埋めた後につくられ,平安時代初頭までつづく。溝幅は約3m,深さは0.4~1.4mである。ところどころに木杭による護岸が認められるほかは素掘りである。木簡,瓦,土器など大量の遺物が出土している。

墨書土器は,第157次で出土した85点だけが極端に多い。ここでは「大炊」,「内木工所」関係のものが,集中して出ている。

SD4100 南面大垣と推定式部省の南面築地との間を通る宮内東西道路SF1761の南側溝である。第165次調査区で検出した。この溝は,第32次補足調査でも検出している。『集成 I 』の補遺も掲げる。溝は素掘りで,3時期の変遷がみられ,下層の溝幅は約2m,中層は1.2m,上層は2.5mある。瓦が多量に出土した。墨書土器の点数は少ないが,式部省との関連を示す「式曹」がある。

SD4240 内裏内郭から東方への排水溝である。内裏東外郭官衙を通るときは、南面築地北

雨落溝として機能し、東面築地を抜けて S D 2700 に合流する。第154次調査で合流部を検出した。第33次調査で明らかにした東外郭官衙部では、凝灰岩の切石で護岸していたが、東面築地を抜けたところから素掘りとなる。溝幅は、西端で $2.4\,\mathrm{m}$ 、合流付近では約 $6\,\mathrm{m}$ に広がっている。深さは $1\sim2.2\,\mathrm{m}$ 。木簡をはじめ、多量の土器、瓦が出土した。墨書土器は、14点あり、中に「政所」がある。

SD4951 平城宮の東外堀で、同時に東一坊大路西側溝をかねる。第32次、第39次調査区で検出している。ここでは、第32次調査に出土したものの補遺をかかげる。第32次調査での遺構番号は、『年報1966』と『平城概報4』では、SD4090になっているが、第39次調査で検出したSD4951の南延長であることははっきりしているので、この番号に統一した(『平城宮木簡三解説』p. 38 参照)。溝幅は、第39次調査では、約3 m であるが、下流の第32次調査区では、約7 m に広がる。溝の東側は路面幅約22 m の東一坊大路である。 溝の堆積は、大きくは3 層にわかれる。下層に堆積する砂の層から、遺物が多量に出土した。木簡、瓦、木製品、金属製品、石製品の各種にわたっている。墨書土器も多く出土した。

SD5200 二条々間大路の北側溝にあたる。これまでも第39次,第44次調査で検出しているが,今回報告するのは,東院東南隅の第120次調査で検出したものである。溝はA,B2時期に分かれ,B期は3m南へずらしてつくられている。B期の溝幅は約3m,石積の護岸がされている。A期の溝より出土した木簡により改修の時期は天平12年以降である。墨書土器は3点出土した。

SD8600 東院地区西端で東北から西南へ斜行する溝である。第104次調査で検出した。溝幅は約3 m, 深さ0.6 m, 両岸はシガラミで護岸し、遺存状況は良好であった。多量の木簡, 土器が出土している。この溝を埋め立てた整地土中より出土した木簡はすべて和銅年間のものである。土器も、平城宮土器編年のⅠ、Ⅱに限られ、溝の存続期間は、平城宮造営当初から天平初年頃までに限定できる。奈良時代初期の木簡、土器の一括大量出土例として重要である。 瓦塼類はほとんど出土していない。墨書土器は少なく、10点である。

SK9608 東院地区西方官衙の土壙である。第128次調査区の東端で検出した。A, B, C 三つの土壙が重なっている。最も古いAの底からは「蔵人」,「蔵人所」が出土した。土器は平 城宮土器編年Ⅲに相当する。

SD9620 東院地区西方の南北方向斜行溝である。第128次調査で確認した。溝幅は3m,深さ0.8mで、杭と側板による護岸の施設が一部に残る。堆積土中より、「天平」紀年木簡をはじめ、土器、瓦、が多量に出土した。土器は平城宮土器編年Ⅲ、Ⅳ、瓦は平城宮瓦編年Ⅲに属すものである。この溝は全体の様子をみると乱流しており、遺物の年代観からも、天平12~19年の恭仁京遷都時の荒廃期のものと考えている。したがって先述のSD3113へのつけかえは、平城宮へ還都して後である。墨書土器は20点出土した。「物部連安万呂」、「大凡小長谷造国」の人名がみえる。

SD10250 若犬養門西北の池状遺構 SG10240から南面大垣を通って二条大路北側溝 SD1250に通じる南北溝である。第133次調査で検出した。溝幅は 7.0m,深さ 1.8m。平城宮造営以前からの旧流路を改修したものである。溝の変遷は複雑で,旧流路も含めて大きく 5 期に分かれる。改修当初は暗渠であったが,途中いったん開渠にし,再び暗渠にしたのち最後はま

た開渠となっている。「神亀 6 年」の紀年のある木簡をはじめ土器, 瓦が出土している。 墨書 土器は 2 点ある。

SD10325 SD3715 の中層が,第一次朝堂院の南端あたりで,一度西に屈曲してふくらみ,南流して再びもとの位置に戻る時期がある。 このふくらんだ部分の南北溝にあたる。 第140次 調査で検出した。 幅 $2.5\,\mathrm{m}$,深さ $0.8\,\mathrm{m}$ の素掘りの溝で, SD3715 にもどるときに南東へ斜行する。溝の年代は,奈良時代後半である。墨書土器は, 3 点ある。

SD10550 平城宮東部の南北幹線水路であるSD2700に,東から注ぐ東西溝である。第139 次調査で検出した。幅 2.7 m,深さ1.7 m の素掘りの溝である。堆積土は上下2層あり,下層 からは,「天平元(729)年」と「天平6(735)年」の紀年木簡,最上層からは,「天応元(781)年」 の墨書土器が出ている。規模も大きく,この地区の区画割りをきめる基本的な東西溝である。 大量の土器が出土したが,墨書土器は,7点である。

SK10727 第一次朝堂院地区を画する東築地塀の外側で、東第二堂の東南方向の位置に掘られた大土壙である。第140次調査で検出した。南北8.4m、東西8.7m、深さ0.3mである。平城宮の廃絶に近い時期の土壙で、出土した多量の土器は、平城宮土器編年Ⅳ・Vの時期に属する。墨書土器は5点出土した。

SD11600 SD3410 の北端に東から合流する東西溝である。第154次調査で検出した。幅5.8 m,深さ1 m の素掘りの溝で,SD3410 と交わるところには橋がかかる。溝の堆積状況はSD3410 と同じである。墨書土器は14点ある。

SD12340 伊福部門 (西面北門) から東に延びる宮内東西道路の北側溝と考えるものである。第164-21次で検出した。溝幅は約4m,深さ0.7mで上下2層の堆積がある。下層からは「神亀3年」の木簡,上層からは「天平勝宝」~「宝亀4年」の木簡が出土している。しかし,出土した多量の土器は,上,下層とも平城宮土器編年 V が主体で,軒瓦も奈良時代後半のものである。墨書土器は,7点ある。

『平城宮出土墨書土器集成 』』 墨書土器出土遺構一覧

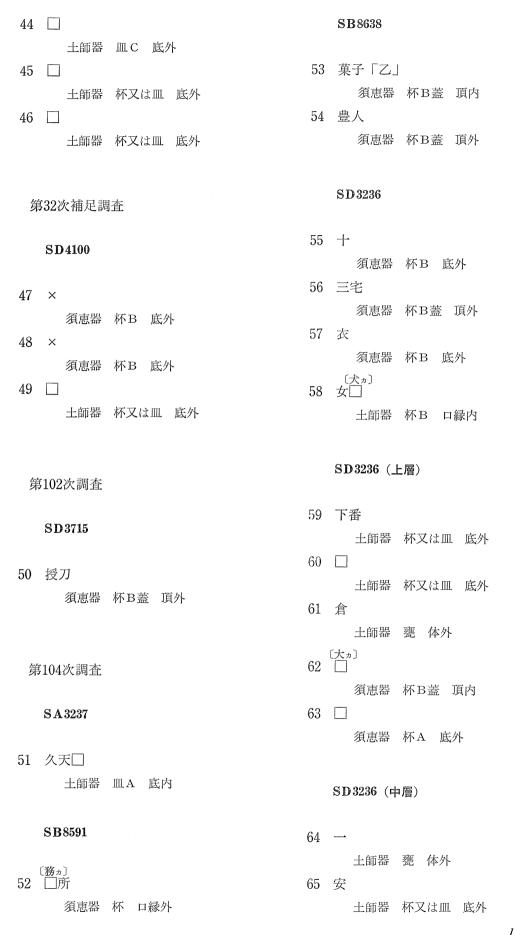
	次数	出 土 地 区 名		出	土 遺	養構
	第4次	6 A B O — K				
集	6	6 A B O — J				
成	20	6 A A O — G				
"	21	6 A A C — B • H • N	S D 2700			
I	22(南)	6 A A F — A	S D3410			
0	28	6 A C C — F	S D3825,	S K3831	S K3832	
補	29	6 A A G — C • M	S D3410,	S D4575		
	32	6 A A I — M · N · O	S D1250,	S D 4090		
遺	32(補)	6 A A I — C	S D4100			
	102	6 A B G — B	S D 3715			
	104	$6ALR-S \cdot T \cdot U$	S D 3236,	S D8600,	S D8620,	S D8622, S D8588
			S A 3237,	S B 8591,	S B 8638,	S X8755, S X8756
			S X8757,	S X8666,	S X8762	
	110	6 A L F — I				
	111	6 A B G	S D 3715			
	120	6 A L F — P · Q	S D 5200,	S E 9295		
	122	6 A A Y — B · C · F	S D 1250			
	128	6 A L R—Q	S D 3109,	S D3113,	S D3193,	S D3297B, S D9601
	and the same of th		S D 9620,	S D 9688,	S D 9690,	S A 5760, S A 9591
			S B 8640,	SB9606,	S B 9613,	SB9640, SB9592
			S K 9608 A	. в с,	S K9691,	S X9683, S X9689
	129	6 A A A — G	S D 2700			
	133	6ACU • CH—D • E • H	S D1250,	S D 10220), S D 1025	50
	136	6ABI • BJ—A • B	S D 3715,	S D9171,	S D 10325)
	139	6 A A A • A B—F • S • T	S D2700,	S D 10550)	
	140	6 A B I • B V • B U — A • B	S D3715,	S D10705	5, S D1070	06, S D 10325,
			S K 10727			
	146	6ABK · BJ · BW—A · B	S D 3715			
	153	6 A A R—C				
	154	6AAD-C • F			S D 4240,	S D4850,
			S D11600,		24	
	155	6A A I — D	S D 1250,	S D 3410		
	157	6 A B L — D	S D 3715			
		6ABL—D	S D 3715			
	164-21	6ADB	S D12340	a ==		
	165	6 A A Y — B • C • O		S D4100,	S K12050), S K12060
	1.05		S X 12094			
	167	6AAY—B · C · F	S D 1250			
	溝辺	`	S D 2700			

第3章 墨書土器釈文

第4次調査	『学報15』	第22次南調査
[司ヵ] 1 □		SD3410
須恵器	杯 口縁外	9 □ 土師器 杯又は皿 底外
第6次調查	『学報15』	包含層ほか
2	ョヵ〕 〕 杯又は皿 底外	10 □ 須恵器 杯B 底外
第20次調查	『学報26』	第28次調査
3 □人□ 須恵器	杯B蓋 頂外	SD3825
역01 We = 田木		11 各/各 須恵器 杯B蓋 頂内
第21次調査 SD2700		SK3831
	杯B蓋 頂外	〔福ヵ〕 12 □来 須恵器 杯B 底外
5 宮内省 須恵器	杯B蓋 頂内	S K 3832
包含層ほか		13 吉 須恵器 杯B蓋 つまみ
6 □ 須恵器	杯B 底外	14 □□ 土師器 皿A 底外
7 □ 土師器 8 □	杯又は皿 底外	包含層ほか
	杯B蓋 頂外	15 ○ (記号) 須恵器 杯B蓋 頂外

第29次調査

	SD3410		SD4575
16	□ 土師器	椀A 底外	33 🗆
17	曹司		土師器 杯又は皿 底外
18	上	椀 A 口縁外	包含層ほか
		杯又は皿 底外	34 美
19	〔福ヵ〕 □ 須恵器	杯A 底外	須恵器 杯B 底外
20	河 尼伯	PA BATE	
21	須恵器	杯又は皿 底外	第32次調査
	須恵器	杯B 口縁外	SD 1250
22	土師器	杯又は皿 底外	35 🗆
23		57구)).메 당시	土師器 杯又は皿 底外
24	上師器□	杯又は皿 底外	SD4951
25	上師器 田	杯又は皿 底外	〔所ヵ〕
20	•	杯又は皿 底外	36 □ 土師器 椀A 口縁外
26	[盡力]		37 □
27	上師器□□□	杯又は皿 底外	須恵器 杯A 底外 38 □
۵.			00 🖂
		杯又は皿 口縁外	須恵器 杯B蓋 頂外
28	人	杯又は皿 口縁外 杯又は皿 底外	
	人 土師器 □/□	杯又は皿 底外	須恵器 杯B蓋 頂外 39 食
29	人 土師器 □/□		須恵器 杯B蓋 頂外 39 食
29	人 土師器 二 土師器	杯又は皿 底外	須恵器 杯B蓋 頂外 39 食 須恵器 杯B蓋 頂内 40 □ 土師器 椀 底外
29 30	人 土師器 土師器 土師器	杯又は皿 底外 椀 A 底外 杯又は皿 底外	須恵器 杯B蓋 頂外 39 食
29 30 31	人 土師器 土師器 土師器	杯又は皿 底外 椀A 底外	須恵器 杯B蓋 頂外 39 食



66		83 🖃
	土師器 杯 C 底内	土師器 杯又は皿 底外
67	Щ	84 🗌
•	須恵器 杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
		85 🗆
68	[四ヵ] □	土師器 杯又は皿 底外
	ー 須恵器 杯 C □縁外	86 🗆
69	福□	須恵器 皿 底外
03	土師器 杯又は皿 底外	87
70	西	須恵器 杯又皿 底外
10	土師器 椀 C 底外	
	工即命 他	〔大ヵ〕 88 □
71		須恵器 杯B 底外
11	②	89 🗆
72		土師器 杯又は皿 底内
12	□ 須恵器 杯又は皿 底内	90 宮□
73		土師器 杯又は皿 底外
10	□□ 須恵器 杯又は皿 底外	〔益ヵ〕
74	(内面)	91
74		土師器 杯又は皿 底外
	〔式ヵ〕 □/□ (外面)	〔人ヵ〕 92 □舎
	須恵器 杯又は皿 底内外	
75		土師器 甕 体外
••	須恵器 甕 体内	93 □
76		土師器 杯又は皿 底外
•0	土師器 杯又は皿 底外	94
77	福	土師器 杯又は皿 底外
••	海恵器 杯 底外	95 大
78		土師器 杯又は皿 底外
• •	□へ 須恵器 杯B 底外	96
70	西	土師器 杯又は皿 底内
13	土師器 杯又は皿 底外	97 廾(線刻)(内面)
80		□浄 (外面)
00	上 土師器 杯又は皿 底外	土師器 杯又は皿 底内外
81		98 🗆
01	「□□」長/家小長/記(外面)	土師器・杯又は皿・底外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	土師器 皿A 口縁内外・底内外	99 合
on		土師器 杯又は皿 底外
04	三 須恵器 杯B蓋 頂外	100 □
	ZE MATHE TO THE TRACE	± ∨ ∨

	土師器 杯又は皿 底外	119 倉人
101		土師器 甕 体外
	須恵器 皿 C 底外	120 🗆
102		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 椀 底外	121 🗆
103		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯又は皿 底外	122 十
104	□ (記号)	土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底外	123 石
105		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底外	124 🗌
106		土師器 椀A 口縁外
	須恵器 杯 底外	125 ·
107	大炊□	土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底外	126 人
108		土師器 杯C 底外
	須恵器 杯又は皿 底外	127 🗆 🖽
109		須恵器 杯又は皿 底外
	土師器 杯 C 底外	128 大 (内面)
110		□ (外面)
	土師器 甕 体外	須恵器 杯B蓋 頂内外
111		129 安
110	土師器 杯又は皿 底外	土師器 皿A 底外
112	□流□良武/□□	130 □ (絵か)
110	土師器 椀A 口縁内	須恵器 杯又は皿 底内
113	生 土師器 杯又は皿 底外	131 (絵)
111		土師器 杯C 口縁外
114		132 □□ (内面)
	土師器 杯又は皿 底外	□□ (外面)
115	L for III . for a All da	須恵器 杯又は皿 底内外
	土師器 杯A 口縁内	133 川合
116	「十一」(内面)	土師器 杯又は皿 底外
	三 (外面)	134
	土師器 皿A 口縁内	土師器 杯又は皿 底外
117	着到	135 見
	土師器 杯又は皿 底内	土師器 杯又は皿 底外
118	庁	136 九
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯B 底外

137		[十ヵ] 156 □
	須恵器 杯A 底内	須恵器 皿 C 底外
138	盛	157 =
	須恵器 杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
139	□□□所	158 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯B蓋 頂内
140		159 人
	須恵器 杯A 底外	須恵器 皿 底外
141		160 🗆
	須恵器 杯A 底外	須恵器 杯B蓋 頂外
142		161 夫
	— 土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯A 底外
143	比	162 □ (内面)
110	土師器 杯又は皿 底外	掃守/掃/壺□(外面)
111		須恵器 杯B 底内外
177	土師器 盤 体内	163 十
145	升	103 須恵器 杯B 底外
140	力 土師器 椀 A 底外	164 □佐斤/□□□/□□/□□
146		104 □屋川ノ□□ノ□□ノ□□ 土師器 椀A 口縁外
140	土師器 杯又は皿 底内	五脚命 (M.A. □ MA) [**] 165 人□
147		103 八□ 須恵器 杯A 底外
11.	「 須恵器 杯A 底外	166 太□/□/□
148	官	100 ALJ/ LJ/ LJ 須恵器 杯B蓋 頂内
110	7 須恵器 杯B 底外	須応命 がり益 み(f) 〔方ヵ〕
149	大	167
110	須恵器 杯 口縁外	須恵器 杯A 底外
150	「□右□□」(内面)	168 調
	(線刻) (外面)	須恵器 椀B 底外
	須恵器 杯A 底内外	169 □国
151		須恵器 杯A 口縁外
	一 土師器 杯B 口縁外	〔年ヵ〕 170 □
152		須恵器 杯B蓋 頂外
	土師器 高杯 杯部底内	
153	田	171 番□ 須恵器 杯A 口縁外
	土師器 杯A 口縁外	次成的 竹口 口豚厂
154		
	土師器 杯又は皿 底外	SD3236(下層)
155	西□	
	須恵器 杯 底外	172 「息長」「成官道人」「道」「捥」

	「勅」「坏」「官」・「成」六文字習書	SD8600
	須恵器 杯B蓋 頂外	
173	〔 政 ヵ〕	188 大
173		須恵器 杯又は皿 底外
1774	須恵器 杯B 底外	189 永須比□
174		須恵器 壺A蓋 頂外
	須恵器 杯又は皿 底外	190 🗆
175		土師器 甕 体外
	土師器 杯又は皿 底外	191 桑田
176		土師器 杯B蓋 つまみ
	須恵器 杯B 底外	192
177		須恵器 杯又は皿 底内
	土師器 杯又は皿 底外	
178	石北	〔九ヵ〕 193 □□
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 甕 体外
179		194 者
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯A 口縁外
180	形公比古	195 🔲 (記号カ)
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 甕 体内
181	昼	5 to 17 to 1
	土師器 杯又は皿 底外	〔博 _尹 〕 196 □
182		須恵器 甕 体外
	土師器 杯又は皿 底外	197 壱
183		須恵器 杯B蓋 頂外
	土師器 杯又は皿 底外	200.144 11 - ME - 200.1
	〔大ヵ〕	SD8620
184		SD0020
40=	須恵器 杯B蓋 頂外	198 🗆
185	娘	
	須恵器 杯B蓋 頂内	須恵器 盤 体内
		GD 0000
	SD3236西	SD 8622
100		100 5 7 0
186		199 広万呂
	土師器 皿A 底外	須恵器 壺 底外
	SD8588	SX8666
1.077	2F 4T	000
187	政所	200 胡麻丸
	土師器 椀A 口縁外	須恵器 杯B 口縁外

201	□ (内面)		須恵器	杯B蓋 つまみ
	□□(外面)	212	□央/□	
	須恵器	杯又は皿 底内外		須恵器	杯B蓋 頂内
			213	(絵)	
	SX8755			須恵器	杯B 底内
			214		
202	春				杯B 底外
	土師器	椀 底外	215	〔九九ヵ〕	′道道道道道/□
203	大				皿B蓋 頂内外
	土師器	皿A 底外	01.0	〔娘ヵ〕	
00.4	[帯ヵ]		216		to FA
204		₹₹₹₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	017	須忠帝 好□□	杯B 底外
905	土	杯又は皿 底外	211		杯A 底外
200		太丑/₹Ⅲ □穩/N	212	沙	PNA DEST
206		杯又は皿 口縁外	210		椀 底外
200		施A 底外	219		10E 1EQ7
	HH NH		210		杯A 底外
	CI W OFF C		220		11 16-47 1
	SX8756				
				土師器	杯A 底外
207	П		221		杯A 底外
207		椋 底外	221		
207		椀 底外		芳	1. 底外
207	土師器	椀 底外		芳 灰釉 Ⅲ 事事/□□	1. 底外
207		椀 底外	222	芳 灰釉 □ 事事/□□ 須恵器 〔瓷ヵ〕	1. 底外
	土師器 SX8757 〔上ヵ〕	椀 底外	222	芳 灰釉 Ⅲ 事事/□□ 須恵器 〔尧ヵ〕 □佐□丸	1. 底外] 皿 C 口縁内・底内
	土師器 SX8757 〔上ヵ〕 大□		222 223	芳 灰釉 □ 事事/□□ 須恵器 〔甃ヵ〕 □佐□丸 須恵器	1. 底外
	土師器 SX8757 〔上ヵ〕 大□	椀 底外 杯又は皿 底外	222 223	芳 灰釉 □ 事事/□□ 須恵器 〔急ヵ〕 □佐□丸 須恵器 〔女ヵ〕	1 底外] 皿C 口縁内・底内 杯B 底外
	土師器 SX8757 [上办] 大□ 土師器		222223224	芳 灰釉 □ 事事/□□ 須恵器 〔甃ヵ〕 □佐□丸 須恵器 〔女ヵ〕 □ 須恵器	1. 底外] 皿 C 口縁内・底内
	土師器 SX8757 〔上ヵ〕 大□		222223224	芳 「灰釉」 事事/□□ 須恵器 〔甃ヵ〕 □ 丸 須恵器 〔女ヵ〕 須恵器 〔女ヵ〕 須恵器	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外
208	土師器 SX8757 (上ッ) 大□ 土師器 SX8762		222223224225	 芳	1 底外] 皿C 口縁内・底内 杯B 底外
208	土師器 SX8757 [上ヵ] 大□ 土師器 SX8762 御胡麻	杯又は皿 底外	222223224225	 芳	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 椀C 底外
208	土師器 SX8757 [上ヵ] 大□ 土師器 SX8762 御胡麻		222223224225226	芳	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外
208	土師器 SX8757 [上ヵ] 大□ 土師器 SX8762 御胡麻 須恵器	杯又は皿 底外	222223224225	 	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 校C 底外 杯B 口縁外
208	土師器 SX8757 [上ヵ] 大□ 土師器 SX8762 御胡麻	杯又は皿 底外	222223224225226227	方 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 椀C 底外
208	土師器 SX8757 [上ヵ] 大 土師器 SX8762 御胡麻 須恵器	杯又は皿 底外	222223224225226	 芳 事	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 椋C 底外 杯B 口縁外 壺 体外
208	土師器 SX8757 「上ヵ」 土師器 SX8762 御胡麻 須恵器 包含層ほか 曹司	杯又は皿 底外 杯B蓋 頂外	222223224225226227228	事 (数) 事 (数) 事 (数) (数) (数) (数) (数) (数) (3) (数) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (3) (4) (3) (4) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (8) (4) (9) (4) (9) (4) (10) (4) (11) (4) (12) (4) (12) (4) (13) (4) (14) (4) (15) (4) (16) (4) (17) (4) (17) (4) (18) (4) (19) (4) (10) (4) (10) (4) (11) (4) (12) (4) (12) (4) (12) (4) (12) (4) (12) (4)	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 杯B 口縁外
208	土師器 SX8757 「大力」 土師器 SX8762 御胡麻 須恵器 包含層ほか 曹司 土師器	杯又は皿 底外	222223224225226227	 	 底外 皿C 口縁内・底内 杯B 底外 杯 口縁外 椋C 底外 杯B 口縁外 壺 体外

230			須恵器	杯 底外
	須恵器 杯B 底外	239		
231			須恵器	杯 底外
	 須恵器 杯B 底外	240	五.	
232			須恵器	杯A 口縁外
202	一 須恵器 杯B 底外		, n	,,
233	SALEMENT TO JEAN T			
200	上師器 杯又は皿 底外		SE9295	
234				
204	河惠器 杯B 底外	241	□水	
	次心的 PPD 成/F		須恵器	杯 底外
第	第110次調査			
		穿	第122次調査	
235	〔多ヵ〕 「□□川波毛」「師/師/師」			
200	須恵器 杯B蓋 頂外		SD 1250	
236		0.40		
200	須恵器 杯B蓋 頂内	242	□/番	
	次心轴 和卫盖 次 门			杯B蓋 頂外
		243	所生	
第	第111次調査			杯A 底外
		244	金	
	SD3715		須恵器	杯B 底外
		245	長	
237	a. 🗆		土師器	杯又は皿 底外
	b. []	246	道	
	c. []		須恵器	皿B蓋 頂外
	d. 🗆 🗆	247	八十	
	e. 🗆		土師器	杯A 底外
	[尺#]	248	兵部	
	f. 🗆		須恵器	杯B 底外
	g. 🔲 🗆	249	兵□	
	土師器 高杯 脚柱外		須恵器	杯A 底外
		250	兵部厨	
عرب عرب	74 00 V 311		須恵器	杯B 底外
芽	第120次調査	251	兵□	
	CD 5200		須恵器	杯B 底外
	SD5200	OFA	〔部ヵ〕	
920	百郊ノ厂	252	兵□	157 a 157 t.t
238	原部/匚□		須思器	杯A 底外

253	兵厨				SB9592西側柱南 2	
	須恵器	杯B	底外			
254	兵厨			265	· · · ·	
	須恵器	杯B	底外		土師器 杯A 口縁	外
255	% (記号)			266	〔鲁ヵ〕 3 □人	
	須恵器	杯A	底外	200	土師器杯口縁外	
256	三番				Table has 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	須恵器	杯B蓋	藍 頂外		SB9606南端	
257	① (記号)				2000年	
	須恵器	杯A	口縁外	267	7	
258	数文字習書	書,文 章	字未詳	200	須恵器 壺 体外	
	須恵器	杯B蓋	藍 頂内		次代 班	
					SB9613西側柱南 4	
	包含層ほか					
250				268	3 広	
259		+x \\ \tau_1 \):	4 Ⅲ 市 总		須恵器 杯B蓋 頂	勺
260		か又(は皿 底外			
200	大 須恵器	坛 A	定从		SB9640西側柱南 2	
261		ημA	127			
201		杯 R 喜	臺 頂外	269) 酒	
	灰心冊	η [· Δ π	正 3尺/		須恵器 杯B 底外	
第	3128次調査				SD3109	
	SA5760			270) 上	
					須恵器 杯A 底外	
262	(絵)			271		
	須恵器	杯B蓋	藍 頂外		須恵器 杯B蓋 頂忽	1
				272	2 +	
	SA9591北京	耑			須恵器 杯A 底外	
				273	3 🗌	
263	大伴				須恵器 杯 底外	
	須恵器	杯B	底外	274	. 下番	
					須恵器 杯B蓋 頂須	小
	SB8640東南	阿隅柱		275		
	v				須恵器 杯B 底外	
264	為			276	6 ⊕ (記号)	
	須恵器				須恵器 杯A 口縁タ	

277	高	295 □/中
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯又は皿 底外
278	久京	296 月
	須恵器 杯B 底外	須恵器 杯B蓋 頂内
279	□□□/□□□(内面)	297 礒
	□/□ (外面)	土師器 椀 底外
	須恵器 杯B 底内外	298
280		土師器 杯又は皿 口縁内
•	土師器 杯又は皿 底内	〔大ヵ〕 29 9
281	迩	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B蓋 頂内	[西ヵ]
282	宮寺	300
	須恵器 杯B蓋 頂外	土師器・杯又は皿・底外
283	供養	301 大
	須恵器 杯B 底外	土師器 杯又は皿 底外
284	供養	302
	須恵器 ⅢC 底外	土師器・杯又は皿・底内
285	供養	303 上
	須恵器 杯A 底外	土師器 杯又は皿 底外
286		304
	土師器 椀 A 底外	土師器 杯又は皿 底外
287	② (記号)	305
	須恵器 杯B 底外	番 (外面)
288		土師器 杯C 底内外
	上師器 杯B 底外	306 □ 土師器 杯又は皿 底内
289	→	
	須恵器 杯A 底外	307 二 土師器 杯又は皿 底外
290	止	308 道
	土師器 杯又は皿 底外	300 追 土師器 杯又は皿 底外
291	卅□/□	309 宮
	土師器 椀 A 口縁外	309 日 土師器 杯又は皿 底外
292	東	310
	土師器 杯又は皿 底外	土師器 杯又は皿 底外
293	長	311 + (記号)
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 壺 体外
294		312
<i>40</i> T	□ / 呂 (外面)	土師器 杯又は皿 底外
	土師器 椀A 口縁内外	313

	須恵器 杯B蓋 頂外	331 菓子
314	上	須恵器 盤A 口縁外
	土師器 椀 底外	332 🔲
315	← (記号)	須恵器 杯B 底外
	土師器 杯又は皿 底外	333 小広
316	□ (内面)	土師器 杯又は皿 底外
	〔山ヵ〕 □階(外面)	334 🗌
	須恵器 杯又は皿 底内外	土師器 椀 底外
317	山	335 🗌
	須恵器 杯B蓋 頂内	土師器 杯又は皿 底外
318		336 上□
	須恵器 杯又は皿 底外	須恵器 杯又は皿 底外
210	[御食力]	337 造宮
319	(万古思 打刀))	土師器 杯又は皿 底外
320	須恵器 杯又は皿 底外	338 🗆
320	□□/ □ □	土師器 杯C 口縁外
321		339 □≡
021	土師器 椀 底外	土師器 杯又は皿 底外
	〔所ヵ〕	340 □/贄/□
322		須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯又は皿 底外	341 ×
323	右兵衛	土師器 椀 底外
	須恵器 杯A 底外	342 上
324	大	土師器 杯又は皿 底外
005	土師器 椀 底外	343
325	□ (内面)	土師器 杯又は皿 底内
	□ (外面)	$344 \square \diagup \square$
	土師器 杯又は皿 底外 〔務ヵ〕	土師器 杯又は皿 底外
326		$345 \equiv$
	須恵器 杯又は皿 底外	須恵器 杯又は皿 底外
327	□□/□良/良/□	$346 \square \diagup \square$
	土師器 杯B蓋 頂外	土師器 甕 体外
328		347 □菓□
	土師器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯又は皿 底外
329		348 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯B 底外
330		349 🔲
	須恵器 杯A 底外	土師器 杯又は皿 口縁外

350	丁	367 里栖
	土師器 椀A 底外	須恵器 杯B 口縁外
351		368 □□
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯又は皿 底外
352	一升一合	369
002	須恵器 壺 底外	須恵器 杯又は皿 底外
353	L	370 □∕□
000	土 土師器 椀 A 底外	須恵器 杯B蓋 頂外
25/		371 案主
004	上 土	土師器 Ⅲ.Β 底外
255	□□/奈尔/□/□/子/大/□	372
000	土師器 皿A 底外	土師器 杯又は皿 底外
356	右兵下	373 大
000	土師器 椀 C 底外	須恵器 杯B 底外
357		374 志/□□
001	土師器 甕 体外	須恵器 杯B蓋 頂内
	上,用户打屏 多。	375 染
		須恵器 杯又は皿 底外
	SD3113	376 (絵)
		土師器 杯C 底外
358	_	377
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯B 底外
359	+	378 大
	土師器 皿A 底外	須恵器 杯B 底外
360	三	379 □浄
	須恵器 杯B蓋 頂内	土師器 杯又は皿 底外
361	□師所	380 田利□
	須恵器 杯又は皿 底外	須恵器 杯B 底外
362	菓	381 ×
	須恵器 杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
363		382 🗆
	須恵器 杯又は皿 底外	須恵器 杯又は皿 底外
364	□忍	383 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
365	宝(内面)	
	南(外面)	
	須恵器 杯B蓋 頂内外	SD 3193
366		
	土師器 皿A 底外	384 □人

SD3297B

385 人菜 土師器 杯又は皿 底外 386 土師器 椀 底外 387 枚 須恵器 杯又は皿 底外 388 北 須恵器 杯又は皿 底外 389 大 土師器 杯又は皿 底外 390 蔵 土師器 杯又は皿 底外 [西ヵ] 391 須恵器 杯 口縁外 392 須恵器 杯A 底外 393 主洗□ 須恵器 盤 体外 394 近 土師器 杯C 底外 395 太 須恵器 杯B蓋 頂内 396 🗌 須恵器 盤 体外

SD9601

402 ⊕ (記号) 須恵器 杯B蓋 頂外

SD9620

403 入 須恵器 杯又は皿 底内

404 □仲膏須恵器 杯B蓋 頂外

405 伎□/□ 須恵器 杯A 口縁外・底外

406 □ 須恵器 杯又は皿 底外

407 物部連安万呂 須恵器 杯A 底外

408 □ 須恵器 杯B 底外

409 小二文又丁/□/大□□廾/ □

土師器 皿A 底外

410 本 土師器 皿A 底外

411 大凡小長谷造国 須恵器 杯B 底外

412 □□□ 須恵器 甕 C 体外

〔九ヵ〕 413 原□□□□ 須恵器 杯A 口縁外

415 十 土師器 杯又は皿 底外

416 東家 須恵器 杯B 底外

399 [女ヵ]

397 □子

398 大

須恵器 杯又は皿 底外

土師器 杯又は皿 底外

須恵器 杯B 底外

400 炊 須恵器 杯B 底外

401 □村

417			$\mathbf{S}\mathbf{K}9608\mathbf{B}$
	須恵器	杯 口縁外	
418	重		〔右六ヵ〕 432 □□
	土師器	杯又は皿 底外	432 □□ 須恵器 杯B蓋 頂外
419			433 蔵
	土師器	杯又は皿 底外	第連報
420	所□		434 [[
	土師器	杯又は皿 底外	類恵器 杯B蓋 頂外
421	申		25/EARL 11 2 m. 20/1
	須恵器	杯A 底外	
422			SK9608C
	土師器	杯又は皿 底外	
			435 净「□」
	SD9688		須恵器 杯B蓋 つまみ
			436
423	奈女		須恵器 杯B蓋 頂外
	土師器	皿 底外	437 □/□/□朔/□□/麦
			須恵器 杯B蓋 頂外
	SD9690		438
			須恵器 杯B 底外
424	_		439 大所水/「水」
405		杯B 底外	須恵器 杯B 底外
425	·	打刀 中侧型	440 皇后□
400		杯B 口縁外	須恵器 杯B蓋 頂外
426	丁 須恵器	好 D 成 M	441 養 土師器 杯又は皿 底外
	須忠奋	杯B 底外	土印希 外又は皿 医外
	C TZ OCOO A		
	SK9608A		SK9691
427			
12.		杯B 底外	442 大
428	潰菜		須恵器 杯B蓋 頂外
		杯B 底外	•
429	蔵人		S X 9683
		杯B 底外	
430	蔵人所		443 大
	須恵器	杯B 底外	須恵器 杯 底外
431	蔵人所		
	須恵器	杯B 底外	S X 9689

444		須恵器 杯B蓋 頂内
	土師器 杯又は皿 底外	462 🔲
		須恵器 杯B蓋 頂外
	包含層ほか	463 東家
		須恵器 杯B 底外
445	大	464 宮
	須恵器 杯B蓋 頂内	須恵器 杯B 底外
446	(記号)	〔旨ヵ〕
	須恵器 杯又は皿 底外	465
447	毛「合」	須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯B 底外	466 (記号)
448	李	須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯又は皿 底外	467
449	□/蔵□/□	須恵器 杯B 底外
	須恵器 杯A 口縁外・底外	468 御取志百□
450	水	須恵器 甕A 肩外
	須恵器 杯B 底外	469 🙀
451	水坏	須恵器 杯又は皿 底外 470 安
	須恵器 杯A 口縁外	470 女 須恵器 杯B 底外
452	74	471 🗌
	須恵器 杯B 底外	471 □ 須恵器 杯B 底外
453		
	須恵器 杯B 底外	〔南ヵ〕 472 大□
454		須恵器 杯 A 底外
	須恵器 甕 C 肩外	473
455	〔少ヵ〕 □凡与左足	土師器 椀 C 底外
	須恵器 杯B 底外	474 夫
456	_	土師器 杯A 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	475 🗆
457		須恵器 杯 口縁外
	須恵器 杯B 底外	476 🗆
458		土師器 壺 A 底外
	須恵器 皿B蓋 頂内	477 枸杷散
459	"# (記号)	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯A 口縁内	478 (記号)
460		須恵器 杯 口縁外
	須恵器 杯B 底外	479 東
461		土師器 杯又は皿 底外

480			土師器 椀 С 底外
	土師器	杯又は皿 底外	499 唐
481	大		須恵器 杯A 口縁外
	土師器	杯A 底外	500 上
482			須恵器 杯 底外
	須恵器	杯B 口縁外	501 上
483	+		土師器 椀 底外
	土師器	杯又は皿 底外	502 南
484	本	X.	土師器 杯B 底外
	土師器	杯又は皿 底外	503
485			須恵器 杯B蓋 頂外
		杯又は皿 底内	504
486	.,.		須恵器 杯B 底外
		盤A 体外	505
487			須恵器 杯又は皿 底外
400		杯A 底外	506 長 須恵器 壺 底外
488		打 刀 房別	類 高
180	須忠裕	杯B 底外	土師器 皿A 底外
409		杯又は皿 底外	508 五
490	国宮	41-X (3 IIII. 112/17	須恵器 壺 底外
450		杯A 底外	509 盛所
491		11 1/20/1	土師器 椀A 底外
		杯B 底外	510 🗆 / 🗆
492	□大		須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器	杯又は皿 底内	511 🗆 / 🗆
493			須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器	杯B 底外	512 人名
40.4	[—ヵ]		須恵器 壺N 体外
494		权力率 语从	
405	須忠帝 □ 井口	杯B蓋 頂外	
493		杯A 底外	第129次調査
	[番ヵ]	THE MAP	G D 0700
496	下□		SD2700
	須恵器	杯B蓋 頂外	513 東
497			313 来 須恵器 杯B 底外
	須恵器	杯B蓋 頂内	514 東
498	〔人ヵ〕 内□□		須恵器 杯B 底外

515		須恵器 杯 口縁外
	須恵器 杯 A 底外	531 大
516	乙	須恵器 杯B 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	532 唐
517	炊	須恵器 鉢 体外
	須恵器 鉢 体外	533 🔲 🗆 / 🖂
518		須恵器 皿D 底外
	土師器 杯 底外	534 🗌
519		須恵器 杯B 口縁外
	須恵器 杯 A 底外	535 □/利(内面)
520		(不明) (外面)
	須恵器 杯 口縁外	須恵器 杯B蓋 頂内外
521	井	536 🗆
	須恵器 杯B 底外	須恵器 杯 A 底外
522	「美濃国安八郡」(3)	537
	「月廿日少属川原蔵凡蔵 / 天平十	須恵器 杯B蓋 頂外
	八年十一月廿日凡蔵人凡 十一月	538 丸器
	[少ヵ]	須恵器 杯 口縁外
	□属川原蔵」(2) 「舎人安曇万呂」(1)	[大力]
	〔遅ヵ〕 「□□道来見□田木郡」⑷「美濃国	539
	安八郡壬生郷/美濃国安八郡/飯	土師器 杯又は皿 底外
	四斗米/日二升四合/三斗」®	540
	須恵器 皿B蓋 頂外	須恵器 杯B蓋 頂外
523	□水儲□	541 造宮□□/大膳
	須恵器 甕 体外	須恵器 杯又は皿 底外
524	大膳	
	須恵器 皿 C 底外	包含層ほか
525	判	
	須恵器 杯 口縁外	542 🗆
526	判	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯B 口縁外	543 北院
527	史	土師器 杯又は皿 底外
02.	土師器 皿A 底外	544 🗆
528		須恵器 杯 底外
320	須恵器 杯 底外	545 □呂
E00		須恵器 杯B蓋 頂外
529	□	[娘力]
	須恵器 杯 口縁外	546
530		須恵器 杯 口縁外

第133次調査		〔女ヵ〕 564 □
CD 10F0		土師器 杯又は皿 底外
SD1250		〔東»〕 565 □
547 厨		土師器 杯又は皿 底外
須恵器	杯 底外	566 🗆
548 厨菜		須恵器 杯B 底外
須恵器	杯B蓋 頂外	567 盛二
549 厨		須恵器 杯B蓋 頂外
須恵器	高杯 脚内	568 上
550 厨		土師器 杯又は皿 底外
土師器	杯又は皿 底外	569 □夜
551 厨		土師器 杯又は皿 底外
須恵器	杯B 底外	570
552		須恵器 杯B蓋 頂外
須恵器	杯B 底外	571 常
553 🗌		須恵器 杯B 底外
須恵器	杯B蓋 頂内	572
554 🗌		須恵器 杯B 底外
須恵器	杯B蓋 頂外	573 麦子
555 己		須恵器 杯B 底外
須恵器	杯B 底外	〔椋ヵ〕 574 □
556 □		須恵器 杯B蓋 頂外
須恵器	杯B 底外	575 会
557		須恵器 杯B 底外
須恵器	杯A 底外	576 🗆
558 =		土師器 椀 底外
	杯B蓋 頂外	577 道金
559 大	11 = mm = 201	須恵器 杯B蓋 頂外
	杯B蓋 頂外	578
	41.0量 44/1	ー
560 □	打刀 虎从	579 (記号)
	杯B 底外	土師器・杯又は皿・底外
561 □十三	打 A 网络 A	580 🗆
	杯A 口縁外	土師器 杯又は皿 底外
562	157 a 150 ki	〔見ヵ〕
	杯A 底外	581 🗌
563		土師器 杯又は皿 底外
須恵器	杯B 底外	$582 \square$

	土師器 杯又は皿 底外	599 進
583		土師器 高杯 杯部底内
	須恵器 杯B 口縁外	600 🗆
584		土師器 皿A 底外
	須恵器 杯A 底外	
585		包含層ほか
	土師器 杯又は皿A 底外	601
586	ダ 須恵器 杯B 底外	601 □ 須恵器 杯B蓋 頂外
587		602
301	□ 土師器 ⅢA 底外	青磁 底外
588		603 雅楽寮
	須恵器 杯A 底外	須恵器 杯B 底外
589		604
	須恵器 杯B 底外	土師器 杯B 底外
590		605 千稲
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯A 底外
591	□□□□万呂/霊亀二年七月知	606 井□ 土師器 ⅢA 底外
T00	須恵器 壺 体外	五前爺 Ⅲ.A 底分·
592	□福 須恵器 皿B 底外	須恵器 杯A 底外
593		
0.00	土師器 杯B 口縁外	
594	雅楽	第136次調查
	土師器 蓋 頂外	
595	雅	SD3715
	須恵器 杯B 口縁外	608 川□
596		須恵器 杯B蓋 頂外
F07	須恵器 杯B蓋 頂外	
597	□ 須恵器 杯B 底外	SD9171
	次心冊 们·D 成/1	
		609 □国
	SD10220	須恵器 杯又は皿 底外
598	□□/中	
000	上	SD10325
	•	610 中
	SD10250	土師器 杯又は皿 底外

611	上				小面)
	須恵器	杯B蓋 頂内		須恵器	杯B 口縁内外
612			628		
	土師器	椀 底外		土師器	杯又は皿 底外
613	弾正		629	膳	
	須恵器	杯B蓋 底外		土師器	杯又は皿 底外
614	刑省		630		
	土師器	杯又は皿 底外		土師器	杯又は皿 底外
615	供養		631		
	須恵器	杯B 底外		須恵器	杯A 底外
616	井		632		
	須恵器	杯B 底外		土師器	杯又は皿 底外
			633		
舅	第139次調査			須恵器	杯 底外
			634	女嬬厨	
	SD2700			須恵器	杯B蓋 頂外
			635		
617	## (記号)			須恵器	杯B蓋 頂外
		杯B 底外	636	寺	
618	五			須恵器	杯B 底外
		ⅢA 底外	637	水	
619				須恵器	杯A 底外
		杯 底外	638		
620	烏膏	ha.		須恵器	杯B蓋 頂内
		杯B 口外	639	分 (記号)	
621	烏膏	land an orbital sector of		須恵器	杯B 底外
200		杯B蓋 頂外	640	+	
622	南家	lee e la		須恵器	皿 底外
con		杯又は皿 底外	641		
623		III A		須恵器	杯B 底外
	工即奋 〔正ヵ〕	皿A 口内	642		
624	僧□			須恵器	杯B 底外
	須恵器	皿 底外	643	美	
625	笠			須恵器	杯B 底外
	土師器	杯又は皿 底外	644		
626	□□番			須恵器	杯B 底外
	須恵器	杯C 底外	645	供養	
627	□ (内	面)		須恵器	杯A 底外

646	供養	須恵器 杯 C 底外
	須恵器 杯A 底外	665 □/目
647	西	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	666 □大□
648	長	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	667 主
649	① (記号)	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	668
650	(絵)	須恵器 杯 A 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外・つまみ	669 内薬□
651		土師器 椀 底外
	須恵器 壺 底外	670 嶋
652		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	〔水ヵ〕 671 □
653	卅	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	672 🗆 🖊 🗆
654		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	673 長
655	印 Cturk Fat	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B蓋 頂内	674
656	人給所	土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 壺 底外	675
657	〔嬬ヵ〕	土師器 杯又は皿 底外
001	須恵器 杯B 底外	676 酒
658	□呑	土師器 杯又は皿 底外
000	プロ 須恵器 杯 底外	677 🗆
659		土師器 杯又は皿 底外
	—— 須恵器 杯B蓋 頂外	678 宮内
	r	土師器 杯又は皿 底外
660	[大力]	679 中
	須恵器 甕 体内	土師器 椀A 口縁外
661	+	680 +
	須恵器 杯又は皿 底外	須恵器 杯 口縁外
662		681 □為(内面)
	須恵器 杯又は皿 底外	□為(外面)
663	<u> </u>	須恵器 杯B蓋 頂内外
	土師器 杯又は皿 底外	682 □義(内面)
664	大膳	林 (外面)

	須恵器 杯B蓋 頂内外	須恵器 杯 A 底外
683	主	701 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯又は皿 底外
684	+	702 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯 A 底外
685	酒	703 🗆
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯B蓋 頂外
686		704 🔲
	須恵器 杯B 底外	須恵器 杯B蓋 頂内
	〔酒ヵ〕	705 🗆
687		須恵器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	706 🗆
688	目	須恵器 杯 A 底外
	須恵器 杯B 底外	707 🗀
689	□上番	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯B 底外	708 筆
690		須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯又は皿 底外	709 □屋□
691		須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯B蓋 頂内	710 大
692	水鳥	須恵器 杯B 底外
	須恵器 壺 体外	711 上
	$[\top_{n}]$	須恵器 杯A 口縁外
693		712 🗌
	須恵器 杯B蓋 頂外	須恵器 杯B 口縁外
694	(記号)	713 🗌
	須恵器 杯A 底外	須恵器 杯 A 底外
695	→ (記号)	714 官
	須恵器 杯B蓋 頂内	須恵器 杯B 底外
696		715 菓□
	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯又は皿 底外
697	□□ (内面)	716 真勝
	□□ (外面)	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯C 口縁内外	717 菓
698	未	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯B 底外	718 □吉
699		須恵器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯B蓋 頂内	719
700	+	須恵器 杯 口縁外

720			739 太
	土師器	杯又は皿 底外	土師器 杯又は皿 底外
721	蔵/蔵		740 🗌
	須恵器	杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
722			741 □ (内面)
	土師器	杯又は皿 底外	□ (外面)
723			土師器 杯又は皿 底内外
	土師器	杯又は皿 底外	742 +·
724			土師器 杯又は皿 底外
	土師器	杯又は皿 底外	743
725	三升		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器	杯B蓋 頂外	744 🗆
726	宮内		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器	皿 C 底外	745 🗌
707	〔大炊ヵ〕		土師器 杯又は皿 底外
727	(万古明	打D 苹 语 版	746 🗌
790		杯B蓋 頂外	須恵器 杯又は皿 底外
128	# □ □	····································	747 🗆
790		杯A 底外	須恵器 杯 B 蓋 頂内
729		₩ 15° N	748 🗌
720		杯A 底外	須恵器 杯 B 蓋 頂内
730		打力 序列	749 🗌
791		杯B 底外	土師器 杯又は皿 底外
731		打 A	750
732		杯A 底外	土師器 杯A 底外
134		权 D茎 頂別	751 🗆
799		杯B蓋 頂外	土師器 杯又は皿 底外
100	十	杯B蓋 頂外	752 家
794	□見	你 D 益) 與 介	須恵器 杯B蓋 頂外
134		杯又は皿 底外	753 一上
735		が 又 V は 皿 ル (人) 下	土師器 杯又は皿 底外
100	佐上無點	椀 底外	754
736	美□	砂區 瓜女子	須恵器 杯B蓋 頂外
130		女力は皿 時別	755 合合男
797		杯又は皿 底外	須恵器 杯B蓋 頂外
737	上師哭	松 刀沙皿 序列	756 民
729	土即帝 (記号)	杯又は皿 底外	上師器 Ⅲ A 底外
100		坏 定从	757 □□
	須忍쥶	杯 底外	須恵器 杯 底外

758	□中		774	
	須恵器	杯 底内		土師器 杯又は皿 底外
759	田南		775	
	須恵器	杯 底外		須恵器 杯B 底内
760			776	奈保□□□□余之上
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器 杯B蓋 頂外
761				
	須恵器	杯又は皿 底外		
762			角	第140次調査
	須恵器	杯B 底外		
				SD3715
	SD10550			
			777	□/□□善□□是/是文部□/移
763				/侍
	須恵器	鉢A 底外		須恵器 杯B蓋 頂外
764			778	事/大
	須恵器	杯B 底外		須恵器 杯B蓋 頂外
765				
	須恵器	杯B蓋 頂外		SD 10325
766				
	須恵器	杯B蓋 頂内	779	(絵)
767	天応元年			土師器 杯又は皿 底内
	土師器	杯B 底外	780	
768	〔大ヵ〕 □膳			須恵器 杯又は皿 底外
100		椀 A 底外	781	(記号)
769	天応	Vu year 1		土師器 椀 С 底外
. 00		杯又は皿 底外		
		,,		SD10705A
	包含層ほか			
	C 日 信 (8 //		782	磯
770				須恵器 壺E 底外
•••		杯又は皿 底外	783	方
771				須恵器 杯A 底外
		甕 体内		
772				SD10706
		壺 体外		
773	中宮安		784	
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器 杯B 底外

SK10727

包含層ほか

70E	〔部ヵ〕	798 🗆
785		須恵器 杯又は皿 底外
	土師器 高杯 脚内	799 奈
786	[× _n]	灰釉 椀 底外
	— 土師器 杯又は皿 底外	
787		
101		須恵器 杯B 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	801 万
788		須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯B 底外	
789	乙万呂/万呂□□/□□研研袖□」	
	須恵器 杯B蓋 頂外	第153次調查
		802 寮
	包含層ほか	須恵器 杯B 底外
790		
	須恵器 杯B蓋 頂外	第154次調査
791	正月	710 TV (1) (1)
	須恵器 杯B蓋 頂外	
	风心带 们 五	SD2700
792		SD2700
792		
792 793		803 🗆
	□ 須恵器 杯B 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外
793	□ 須恵器 杯B 底外□ 須恵器 杯B 底内	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □
	□	803 □ 土師器 杯又は皿 底外
793 794	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □
793	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 項恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号)	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外
793794795	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 項恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外
793 794	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 項恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外
793794795	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 項恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外
793794795	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底外 ・ 〈記号〉 土師器 杯又は皿 底外 方	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大 土師器 皿 C 底外 807 (絵カ)
793794795	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底外 ・ 〈記号〉 土師器 杯又は皿 底外 方	803 □
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外 方 須恵器 杯A 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底内 ・ 須恵器 杯B 底外 ・ 〈記号〉 土師器 杯又は皿 底外 方	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外 方 須恵器 杯A 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大 土師器 皿 C 底外 807 (絵カ) 土師器 杯 底外 808 □ 土師器 杯 底外
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外 方 須恵器 杯A 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外 方 須恵器 杯A 底外	803 □ 上師器 杯又は皿 底外 804 □ 上師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 上師器 杯又は皿 底外 806 大
793794795796	□ 須恵器 杯B 底外 □ 須恵器 杯B 底内 弾 須恵器 杯B 底外 × (記号) 土師器 杯又は皿 底外 方 須恵器 杯A 底外	803 □ 土師器 杯又は皿 底外 804 □ 土師器 椀A 口縁外 805 ○ (記号) 土師器 杯又は皿 底外 806 大

	上師器	杯又は皿 底内	830	
812				須恵器 甕 体内
	土師器	杯又は皿 底外	831	
813	大			須恵器 杯B 底外
	土師器	杯又は皿 底外	832	河西方
814	里			須恵器 杯 底外
	須恵器	杯A 底外	833	所
815	中			須恵器 杯 口縁外
	土師器	杯又は皿 底外	834	□(内面)
816	+			相樸人(外面)
	土師器	ⅢA 底外		須恵器 杯 底內外
817	地		835	内□
	土師器	ⅢA 底外		須恵器 皿 C 底外
818			836	枸杞╱□
	土師器	杯又は皿 底外		須恵器 杯B蓋 頂外
819	政□		837	□/□疏□/継□□/大選/象象
	土師器	椀A 底外		須恵器 杯B蓋 頂外
820	本		838	有
	土師器	椀 底外		須恵器 杯 A 底外
821	本		839	官
	土師器	杯A 口縁外		須恵器 杯A 底内
822				[旨ヵ]
	土師器	杯又は皿 底外	840	勅□
	〔飯ヵ〕			須恵器 杯 底外
823	(内面)		841	権
	□ (外面)			須恵器 杯B 底外
	土師器	杯又は皿 底内外	842	〔宮ヵ〕 造□
824			012	須恵器 杯A 底外
	土師器	杯又は皿 底外	843	
825			0.10	— 土師器 杯又は皿 底外
	須恵器	杯 口縁外		〔波ヵ〕
826	年		844	
	須恵器	杯A 底外		土師器 杯又は皿 底外
827			845	
	須恵器	杯B蓋 頂外		土師器 皿B 底外
828			846	
	須恵器	杯B 底外		土師器 杯又は皿 底外
829			847	
	須恵器	杯B蓋 頂内		土師器 杯又は皿 底外

848		土師器 高杯 脚内
	土師器 杯又は皿 底外	867 右寮
849	[器力]	土師器 杯 底外
	一 土師器 杯又は皿 底外	868 🗆 🗆
850		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底内	869 草
851		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底外	870 □ 土師器 杯B 底外
852		- 1 上 871 上
	土師器 杯又は皿 底外	土師器 杯又は皿 底外
853		872 □人器/□処
854	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯A 底外
004	五 須恵器 杯B蓋 頂外	873 子
855	友/大友女/□□	須恵器 杯 底外
	須恵器 杯A 口縁外	874 縫
856		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 杯又は皿 底外	875
0.577	(46 .)	須恵器 杯A 底外
857	(絵カ)	
857	(経カ) 土師器 杯又は皿 底外	(水ヵ) 876 □
	•	「水油〕
858	上師器 杯又は皿 底外 □□□/□□ 土師器 皿A 口縁内	876 □
858	土師器 杯又は皿 底外 □□□/□□ 土師器 皿A □縁内 御冨	〔水ヵ〕 876 □ 須恵器 杯B蓋 頂外
858 859	土師器 杯又は皿 底外 □□□/□□ 土師器 皿A 口縁内 御冨 土師器 杯又は皿 底外	876 □ 須恵器 杯B蓋 頂外 877 求
858	土師器 杯又は皿 底外□□□/□□土師器 皿A 口縁内御冨土師器 杯又は皿 底外	876 □ 3
858 859	土師器 杯又は皿 底外□□□/□□土師器 皿A 口縁内御冨土師器 杯又は皿 底外□土師器 杯又は皿 底外	876 □
858 859 860	土師器 杯又は皿 底外□□□/□□土師器 皿A 口縁内御冨土師器 杯又は皿 底外□土師器 杯又は皿 底外	876 □
858 859 860	 土師器 杯又は皿 底外 □□□/□□ 土師器 皿A 口縁内 御冨 土師器 杯又は皿 底外 一 土師器 杯又は皿 底外 厨 土師器 杯又は皿 底外 	876 □ 3
858 859 860 861	 土師器 杯又は皿 底外 □□□/□□ 土師器 皿A 口縁内 御冨 土師器 杯又は皿 底外 一 土師器 杯又は皿 底外 厨 土師器 杯又は皿 底外 	876 □
858 859 860 861	 土師器 杯又は皿 底外 土師器 皿A 口縁内 御冨 土師器 杯又は皿 底外 土師器 杯又は皿 底外 財 土師器 杯又は皿 底外 財 大師器 杯又は皿 底外 財 	876 □ 3
858 859 860 861 862	 土師器 杯又は皿 底外 土師器 皿A 口縁内 御冨 土師器 杯又は皿 底外 土師器 杯又は皿 底外 財 土師器 杯又は皿 底外 財 大師器 杯又は皿 底外 財 	876 □
858 859 860 861 862 863	 土師器 杯又は皿 底外 一二 → 上師器 皿A 口縁内 御富	876 □ 3
858 859 860 861 862 863	土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	876 □ □
858 859 860 861 862 863 864	土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	876 □ □
858 859 860 861 862 863	土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	876 □
858 859 860 861 862 863 864	土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	876 □ □

	須恵器 杯B蓋 頂内	須恵器 杯 口縁外
000	自力	904 🗆
886	飛□/下 土師器 壺 A 体外	須恵器 杯 底外
887	,	905 真/□□
001	土師器 杯又は皿 底外	須恵器 杯B蓋 頂内
888		906 JII
000	土師器 椀 C 底外	須恵器 杯 底外
889		907 =
003	知 須恵器 壺L 底外	須恵器 皿 C 底外
890	広□所	908 🗆
000	須恵器 杯B 底外	須恵器 皿 C 底外
891		909 □□ (内面)
001	須恵器 杯A 底外	(絵) (外面)
892	清食人(口縁外面)	須恵器 杯 底內外
	六日 (底外面)	910 桧
	須恵器 杯B 口縁外・底外	須恵器 杯A 口縁外
893	□□/□□ (内面)	911 宮職
	□ (外面)	須恵器 杯B 口縁外
	須恵器 杯B蓋 頂内外	912 内舎人
894	道□	須恵器 杯 A 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	913 大膳
895		須恵器 杯又は皿 底外
	須恵器 皿B蓋 頂外	914 師
896	道□	須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯B蓋 頂外	915 (絵)
897		須恵器 壺 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	916 得
898		須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯B蓋 頂外	917 次
899	道	須恵器 杯B蓋 頂内
	須恵器 杯B 底外	918 □備(内面)
900		鳥 (外面)
	須恵器 杯B 底外	須恵器 杯 B 蓋 頂內外
901	〔萬ヵ〕 □女	919 升
	須恵器 杯 底外	須恵器 杯B蓋 頂外
902	(絵力)	920 内□ (内面) 〔舎ヵ〕
	須恵器 杯 底内	□□人(外面)
903		須恵器 杯B蓋 底内外

921		939	取長	
	須恵器 杯B 口縁外		須恵器	杯B 底外
922	食	940	監.	
	須恵器 壺 体外		須恵器	杯B蓋 頂外
923	□人所	941		
	須恵器 杯A 底外		須恵器	杯 口縁外
924	+	942	麻呂	
	須恵器 杯 口縁外		須恵器	杯 口縁外
925	□ (内面)	943	将	
	□ (外面)		須恵器	杯B蓋 頂内
	須恵器 皿 C 口縁内外	944	左□	
926	□刺		土師器	杯又は皿 底外
	須恵器 杯 底外	945		
927			土師器	ⅢA 底外
	須恵器 杯B蓋 頂内	946	広足	
928			須恵器	杯A 口縁外
	須恵器 杯B 底外	947		
929			須恵器	杯又は皿 底外
	須恵器 杯B蓋 頂外	948	(記号)	
930			須恵器	杯B 底外
•	須恵器 杯B蓋 頂外	949	殿	
931			須恵器	杯B 底外
001	須恵器 壺 体外	950		
932	•		須恵器	杯 底外
002	② 須恵器 杯B 底外	951		
933			須恵器	杯B蓋 頂外
•	須恵器 壺 体外	952	大□	
934	一 (内面)		須恵器	杯 底外
•••	〔充ヵ〕	953	美濃家	
	内蔵□ (外面)		土師器	杯又は皿 底外
	須恵器 杯 底内外 	954	岸田	
935			土師器	ⅢA 底外
	須恵器 杯A 底外	955		
936	足		土師器	杯又は皿 底外
	須恵器 杯B 底外	956	□/道/□](内面)
937				(外面)
	須恵器 杯B 底外		土師器	杯又は皿 底内外
938	所	957		
	須恵器 杯B蓋 頂外		土師器	杯又は皿 底外

958	井(記号)(内面)	975	八一
	真 (外面)		須恵器 杯B蓋 頂外
	土師器 皿A 底内外	976	相模国/右□
959	本		土師器 椀A 口縁外
	土師器 杯又は皿 底外	977	
960	□公足		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器 杯 口縁外		
961			GT 1010
	須恵器 壺 底外		SD4240
		978	77)
	SD3410	910	土師器 杯B 底外
		979	
962	足	919	∬ 須恵器 Ⅲ 底外
	土師器 杯又は皿 底外	980	
963	木工	300	勿 須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 皿B蓋 頂外	981	十 (口縁外面)
964	六	301	□□ (底外面)
	須恵器 壺 底外		須恵器 杯B 口縁外・底外
965		982	
	須恵器 杯B蓋 頂外	302	須恵器 杯B蓋 頂外
966	〇 (記号)	983	大
	土師器 高杯 杯内	000	土師器 杯又は皿 底外
967		984	政所
0.00	土師器 杯又は皿 底外	• • •	土師器 杯又は皿 底外
968		985	
0.00	須恵器 壺 体外		須恵器 杯B蓋 頂内
969	•	986	
070	土師器 杯A 口縁外		須恵器 杯B 底外
970	□芒□/□□般若大□/□□□/	987	
	□ 須恵器 ⅢB蓋 頂外		須恵器 杯 底外
971		988	菜
0.1	②		須恵器 杯 A 底外
972	石匚□	989	(記号)
3	土師器 杯又は皿 底外		須恵器 杯B 底外
973	大	990	御女
	須恵器 杯B蓋 頂外		須恵器 杯B蓋 頂外
974	日置部	991	大
	須恵器 杯B蓋 頂内		土師器 椀 A 底外

992	□□ 須恵器 杯B蓋 頂内		包含層ほか
	3,13,12	1007	左士
	SD11600		一 須恵器 杯A 底外
		1008	
993			須恵器 杯B 底外
	土師器 壺 A 底外	1009	
994	_		須恵器 杯B 底内
00=	土師器 椀 A 口縁外	1010	
995	須恵器 壺 体外		須恵器 杯A 底外
	(進 ₄)	1011	
996		1019	土師器 杯又は皿 底外 井(記号)
	土師器 盤 口縁内	1012	土師器 杯B 底外
997		1013	
000	土師器 杯又は皿 底外	1010	 灰釉 - 椀 - 底外
998	高/□□/高宿□□/□□□□ (内面)	1014	
	応応/道道/□/道□為(外面)		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 皿 C 口縁内外	1015	里
999			須恵器 杯B蓋 つまみ
	須恵器 杯B蓋 頂外	1016	丁
1000			須恵器 杯B 底外
	須恵器 杯 底外	1017	大炊
1001	□盛 	1010	土師器 甕 体内
1000	土師器 皿 底外	1018	□ 須恵器 杯A 底外
1002	土師器 杯又は皿 底内	1010	国内
1003	器	1013	□ 和 □ 土師器 □ C □ □ 縁外
1000	土師器 杯B 底外	1020	
1004	広		土師器 杯又は皿 底外
	土師器 皿 底外		
1005		Æ	~1
	土師器 杯又は皿 底外	牙	第155次調査
			SD1250
	SX 11524		
4000		1021	○ (記号)
1006	六		土師器 杯B蓋 頂内

1000	洲□	1037	rkı
1022	酒□ 須恵器 杯B 底外	1057	河 須恵器 杯B 底外
1022	上番	1038	□/□大炊
1025	五世 須恵器 杯B蓋 頂外	1000	プレス (A)
1024		1039	□大炊
1021	- 土師器 杯又は皿 底内	1005	須恵器 杯 底外
1025		1040	内大炊
	土師器 杯又は皿 底外	1010	須恵器 杯A 底外
1026	魚□/中中□□/中/又	1041	内大炊
	土師器 皿A 底外		土師器 杯又は皿 底外
		1042	□大炊
	SD3410		須恵器 杯B 底外
		1043	内大
1027	主水		須恵器 杯B 底外
	須恵器 壺 底外	1044	内大炊
1028	府		須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器 杯 底外	1045	大炊
			土師器 杯又は皿 底外
		1046	大
第	第157次調査		土師器 杯又は皿 底外
第		1047	土師器 杯又は皿 底外 内大炊秘人
第	\$157次調查 SD3715	1047	
	SD3715		内大炊秘人
第 1029	SD3715		内大炊秘人 須恵器 皿B 底外
1029	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外	1048	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外
1029	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚	1048 1049	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外
1029 1030	SD3715 □	1048 1049	内大炊秘人 須恵器 ⅢB 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙
1029 1030	SD3715 □	1048 1049 1050	内大炊秘人 須恵器 ⅢB 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外
1029 1030 1031	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外	1048 1049 1050	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙
1029 1030 1031	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外
1029 1030 1031 1032	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙
1029 1030 1031 1032	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 ⅢB 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙
1029 1030 1031 1032	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 内木工所/充足桙
1029 1030 1031 1032 1033	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□ 土師器 杯又は皿 底外 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 □衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 「内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外
1029 1030 1031 1032 1033	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外	1048 1049 1050 1051	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 一衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 「内ヵ」 □ □ 一 一 一 須恵器 杯B 底外 □ □ □ □ 須恵器 杯B 底外
1029 1030 1031 1032 1033	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ カー	1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054	内大炊秘人 須恵器 ⅢB 底外 内□ 衣 I I I I I I I I I I I I I I I I I I
1029 1030 1031 1032 1033 1034	SD3715 □ 須恵器 杯A 底外 真魚 須恵器 杯A 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底外 □□ 土師器 杯又は皿 底内 □ カー	1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054	内大炊秘人 須恵器 皿B 底外 内□衣/□ 須恵器 杯B 底外 一衣 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B蓋 頂外 内木工所/充足桙 須恵器 杯B 底外 「内ヵ」 □ □ 一 一 一 須恵器 杯B 底外 □ □ □ □ 須恵器 杯B 底外

1056			1075		
	須恵器	杯B 底外		須恵器	杯 底外
1057			1076		
	土師器	杯又は皿 底内		須恵器	杯B蓋 頂外
1058	□水		1077		
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器	杯B蓋 頂外
1059	秋成		1078	私	
	須恵器	杯B 底外		須恵器	杯B蓋 頂外
1060			1079		
	土師器	杯又は皿 底外		土師器	杯 底外
1061			1080		
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器	杯B蓋 頂内
	[式ヵ]		1081		
1062		h		須恵器	杯B 底外
		杯B 底外	1082		
1063		In the second se		須恵器	杯B 底外
		杯B蓋 頂外	1083	瀬瀬	
1064				須恵器	杯B蓋 頂外
		杯B蓋 頂内	1084	味物料理	
1065		legations and the		須恵器	杯B蓋 頂外
1000		杯B 底外	1085		
1066	式曹	杯 克拉 · 塔州		須恵器	杯B蓋 頂外
1007		杯B蓋 頂外	1086		
1067	式曹	杯 D茶 语句		須恵器	杯B蓋 頂外
1000		杯B蓋 頂外	1087	諸司□	
1068		打刀芋 頂州		須恵器	杯A 底外
1000		杯B蓋 頂外	1088		
1069		杯B蓋 頂外		須恵器	杯B蓋 頂外
1070		外 D益 坝//	1089	土	
1070		₩ A 時別		須恵器	杯B蓋 頂内
1071		杯A 底外	1090	秋	
1071	勿事 思	打 D苯 頂別		須恵器	杯B蓋 頂内
1070		杯B蓋 頂外	1091		
1072	(記号)	莲 休中		須恵器	杯B蓋 頂外
1070		甕 体内	1092	[儛ヵ]	
10/3	十(記号)	坏卫车 頂也	1092	20	杯B蓋 頂外
1074		杯B蓋 頂内	1002		がい
1074	□上廣	杯D 李 适出	1093	(記号)	坏 定分
	須忠磊	杯B蓋 頂内		須 尼裔	杯 底外

1094			1112	府
	須恵器	皿 底外		須恵器 杯B蓋 頂外
1095			1113	中
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器 杯B蓋 頂外
1096				
	土師器	ⅢA 底外		
1097			第	3157次補足調査
	 須恵器	杯B蓋 頂内		
1098		,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		SD 3715
1000		皿。底外		
1099			1114	
1099		杯又は皿 底外		土師器 杯又は皿 底内
1100		小文(4 IIII)	1115	主水
1100	□ (内面)〔所ヵ〕			須恵器 杯B蓋 頂内
	□ (外面)		1116	主水
	土師器	杯又は皿 底内外		須恵器 杯B蓋 頂内
1101	○ (記号)		1117	□万呂(内面)
	土師器	杯又は皿 底外		麻□ (外面)
1102				須恵器 杯B蓋 頂内外
	須恵器	杯B蓋 頂外	1118	大炊「木工足木」
1103	秋			須恵器 杯B蓋 頂外
	須恵器	杯B 底外		
1104	美			
	須恵器	杯B蓋 頂外	第	164—21次調査
1105				
	須恵器	杯B蓋 頂外		SD 12340
1106	□□番			
	土師器	杯又は皿 底外	1119	押
1107	鈿			須恵器 杯B蓋 頂内
	土師器	杯又は皿 底外	1120	上
1108				須恵器 杯又は皿 底外
	土師器	杯又は皿 底外	1121	
1109	八番/匚二]		土師器 杯又は皿 底外
	須恵器	杯B蓋 頂外	1122	
	[内大炊ヵ]			須恵器 杯又は皿 底外
1110			1123	六十
	須恵器	杯A 底外		須恵器 杯A 底外
1111			1124	
	須恵器	杯B蓋 頂外		土師器 杯又は皿 底外

1125	六十			包含層ほか	
	須恵器	杯A 底外			
			1135	式	
				須恵器 杯B 底外	
第165次調査			1136		
	SD1250			須恵器 杯B蓋 頂外	
	SD 1250				
1126	〔大ヵ〕 □炊		第	第167次調査	
		杯 底外			
1127	井 (記号)			SD1250	
	須恵器	杯B蓋 頂外		. —	
1128	三桑		1137	大□	
	須恵器	杯B蓋 頂外		須恵器 杯B 底外	
				包含層ほか	
	SD4100			己呂僧はか	
1100			1138	七□	
1129	□研 (第 本 問	Ize pote IZ N		須恵器 杯B蓋 頂外	
1190		杯B蓋 頂外			
1190	式曹	杯B 底外			
	汉心册		辺資料		
	SK12050			SD2700	
1131			1139	□□院私	
	土師器	杯A 底外		須恵器 壺 底内	
			1140		
	SK12060			須恵器 杯B 底外	
1132			1141	省	
1132		杯 A 口縁外		土師器 椀A 底外	
	[式曹力]	が下れ 日 版 / 下	1142		
1133				須恵器 杯A 底外	
	須恵器	杯A 底外	1143	三	
				須恵器 壺 底外	
	SX 12094		1144	膳	
				須恵器 杯A 底外	
1134			1145	内掃	
	須恵器	杯B 底外		須恵器 杯A 口縁外	

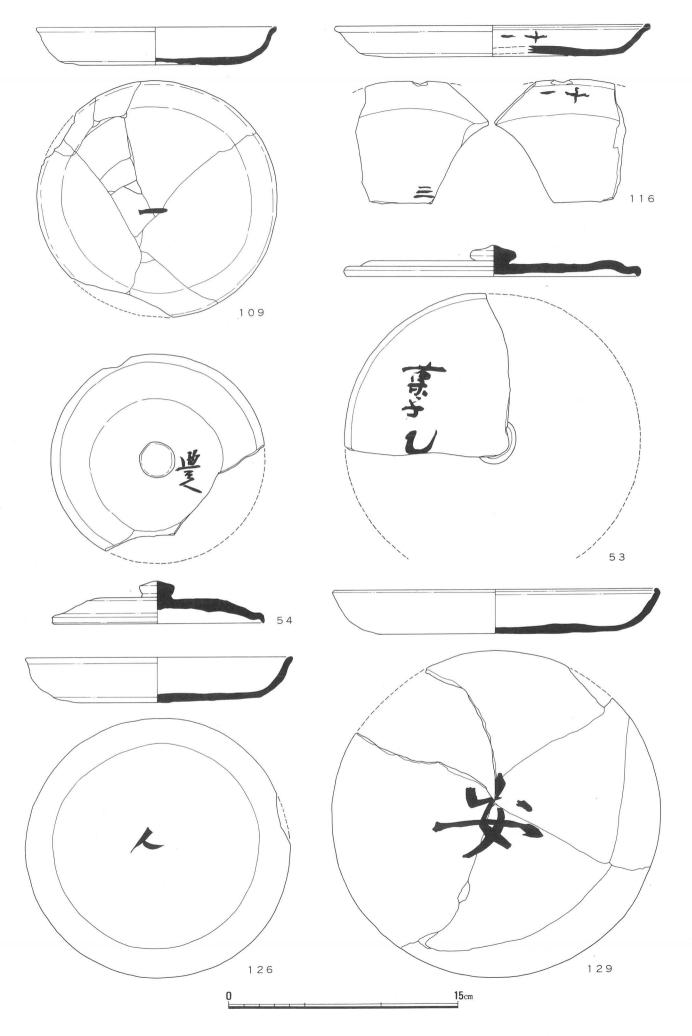
		077 - i -	P L 25	第128次	439, 441~454
	図版・釈文対	照表	P L 26	第128次	$455\sim484$
図版番号	調査次数	釈文番号	P L27	第128・129次	$485 \sim 520$
PL1	第104・122次	172, 258	P L28	第129・133次	521, 523~551
PL2	第122次	248, 253	P L 29	第133次	552~593
P L 3	第128次	429, 431	P L 30	第133・136・	$594 \sim 622$
PL4	第129次	522		139次	
PL5	第 4・6・20・21	1~26	P L31	第139次	623~650
	次,第22次南		PL32	第139次	651~670
	第28・29次		P L33	第139次	$671 \sim 703$
PL6	第29・32次,	27~52	P L34	第139次	$704 \sim 746$
	第32次補足,		PL35	第139次	$747 \sim 776$
	第102・104次		P L 36	第140次	$777 \sim 793$
PL7	第104次	53~74	PL37	第140・146・	$794\sim\!823$
PL8	第104次	75~97		153・154次	
PL9	第104次	98~119	PL38	第154次	824~850
PL10	第104次	120~141	PL39	第154次	851~884
P L11	第104次	142~163	P L 40	第154次	885~912
P L 12	第104次	164~171, 173~	P L41	第154次	913~937
		184, 186	PL42	第154次	938~963
P L 13	第104次	185, 187~202	P L 43	第154次	958, 970, 982
P L 14	第104次	203~217	PL44	第154次	964~969, 971~
P L 15	第104・110次	218~236			981 , 983~996
P L16	第111次	237	P L45	第154・155次	$997 \sim 1023$
P L 17	第120・122次	238~247, 249~	PL46	第155・157次	$1024 \sim 1039$
		252, 254~257,	P L47	第157次	$1040 \sim 1054$
		259~261	PL48	第157次	$1055\sim 1084$
P L18	第128次	262~285	PL49	第157次	$1085\sim1109$
P L 19	第128次	286~319	PL50	第157次·第	$1110 \sim 1129$
P L 20	第128次	320~339		157次補足,	
P L21	第128次	340~368		第164-21•	
PL22	第128次	369~394		165次	
PL23	第128次	395~413	PL51	第165・167次,	$1130 \sim 1144$
PL24	第128次	414~428 , 430.		溝辺資料	
		432~438, 440			

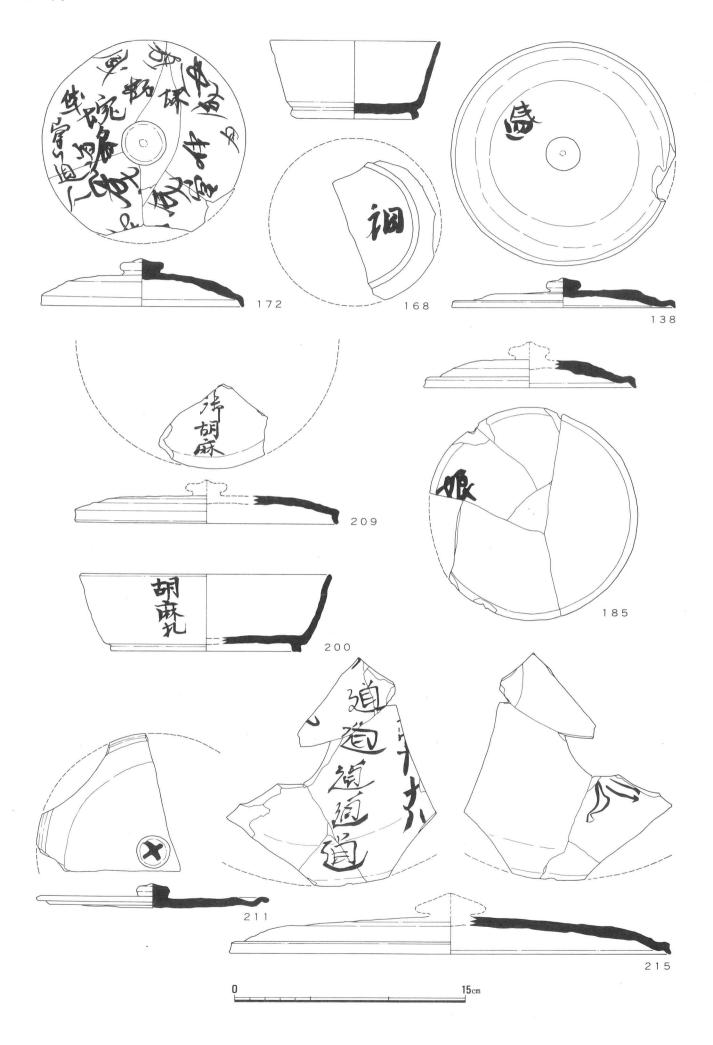
NARA NATIONAL CULTURAL PROPERTIES RESEARCH INSTITUTE

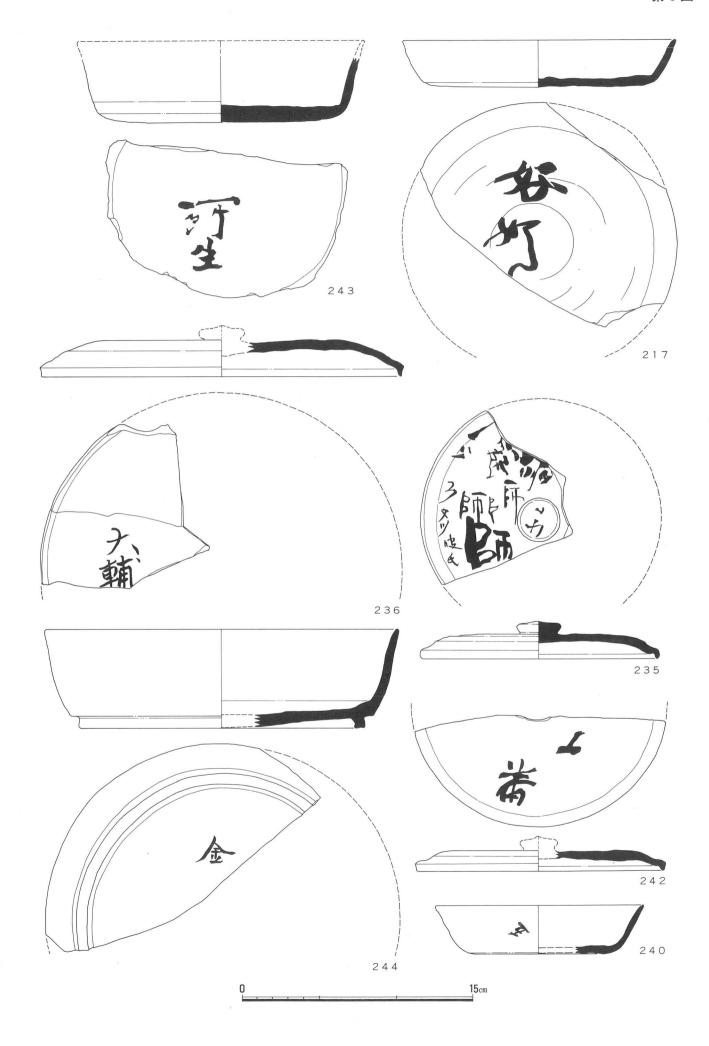
POTTERY WITH INK WRITINGS AND DRAWINGS FROM THE NARA PALACE SITE

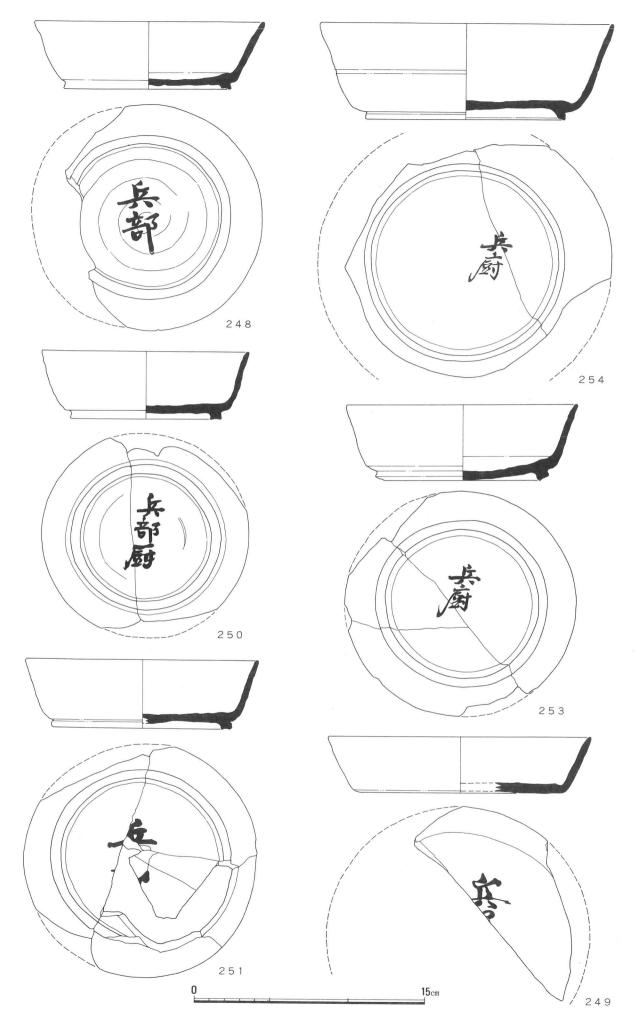
II

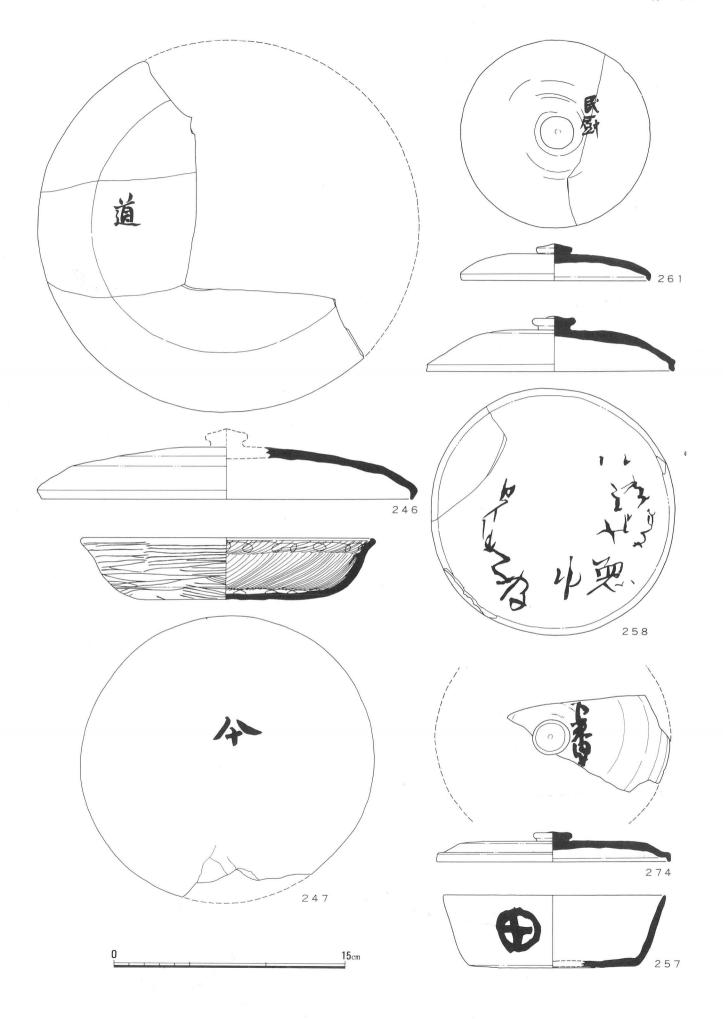
PUBLICATIONS ON HISTORICAL MATTER
VOLUME XXXI
NARA, 1989

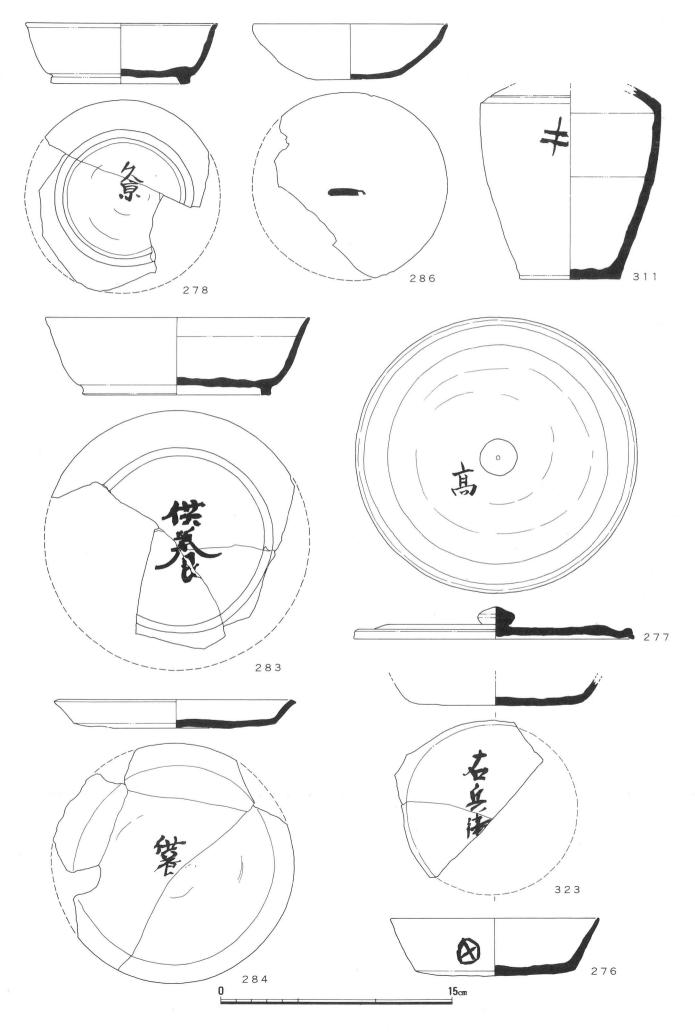


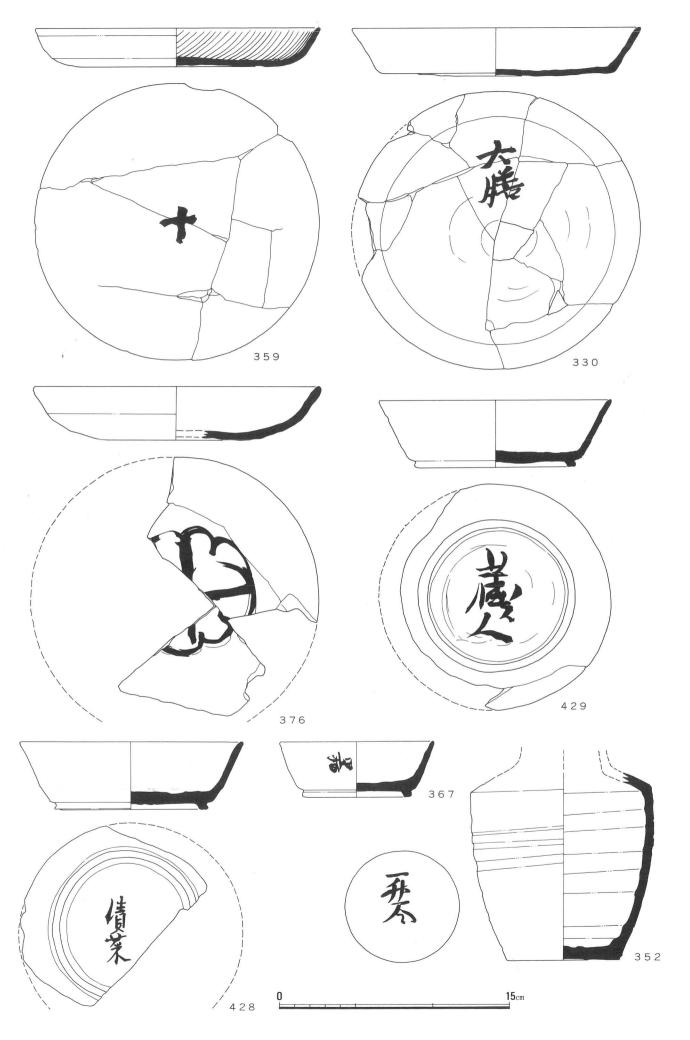


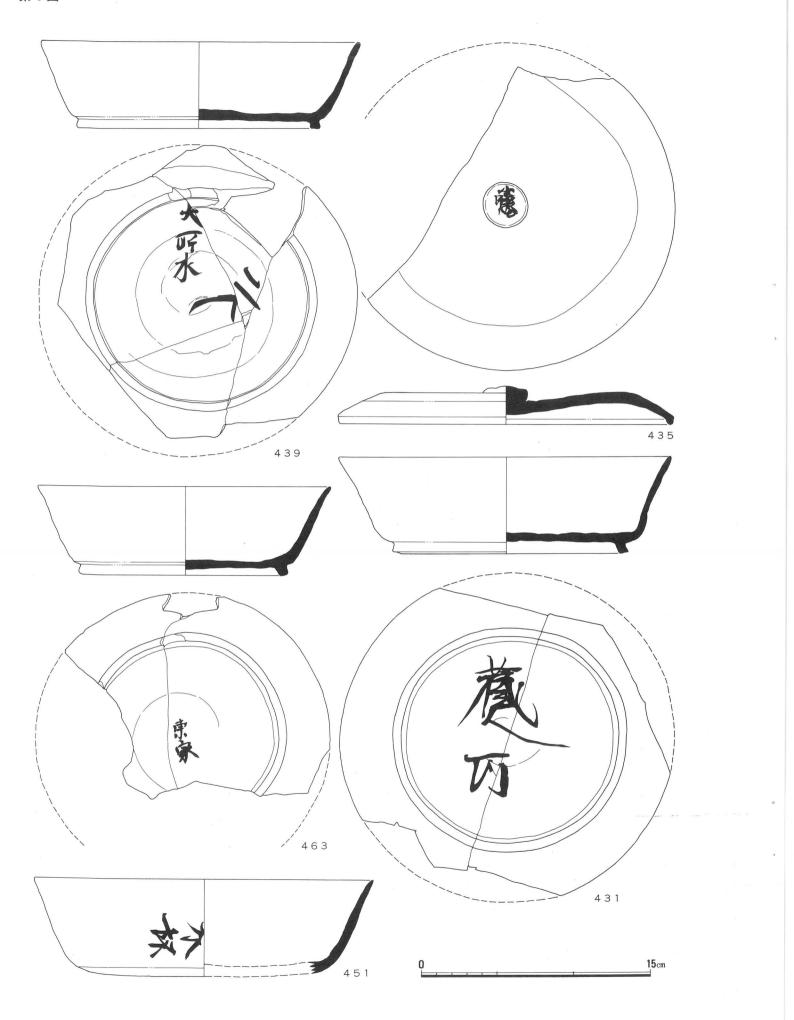


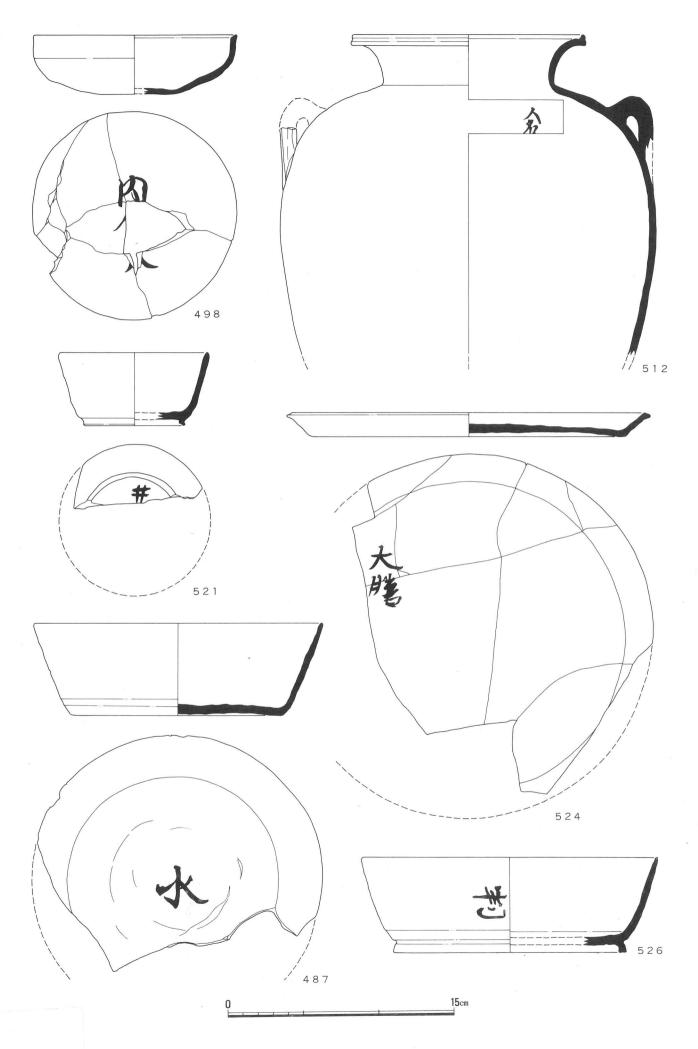


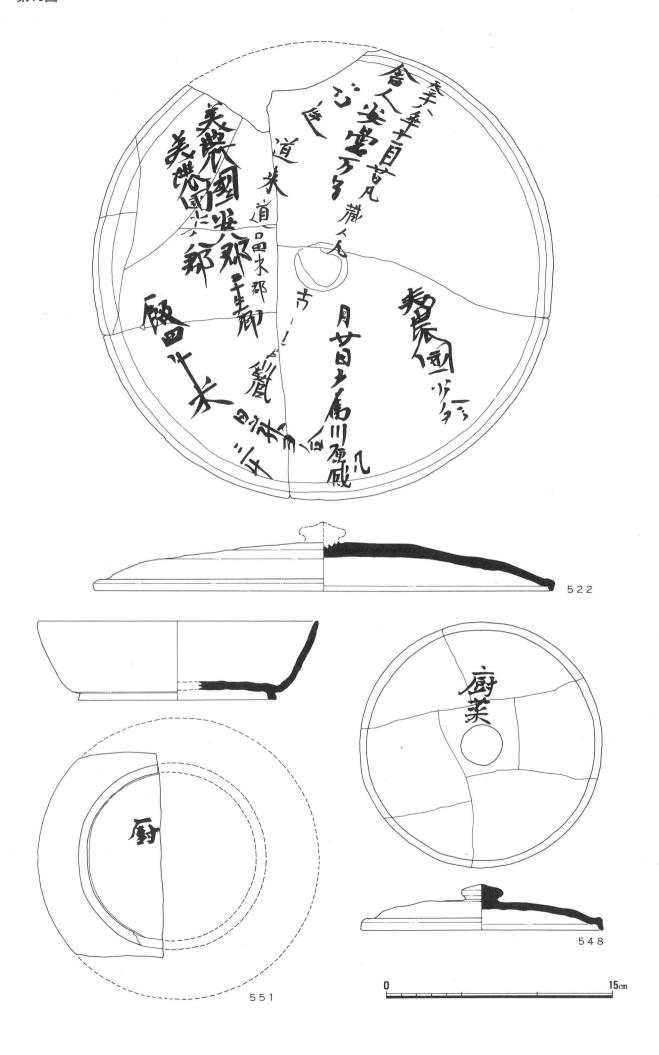


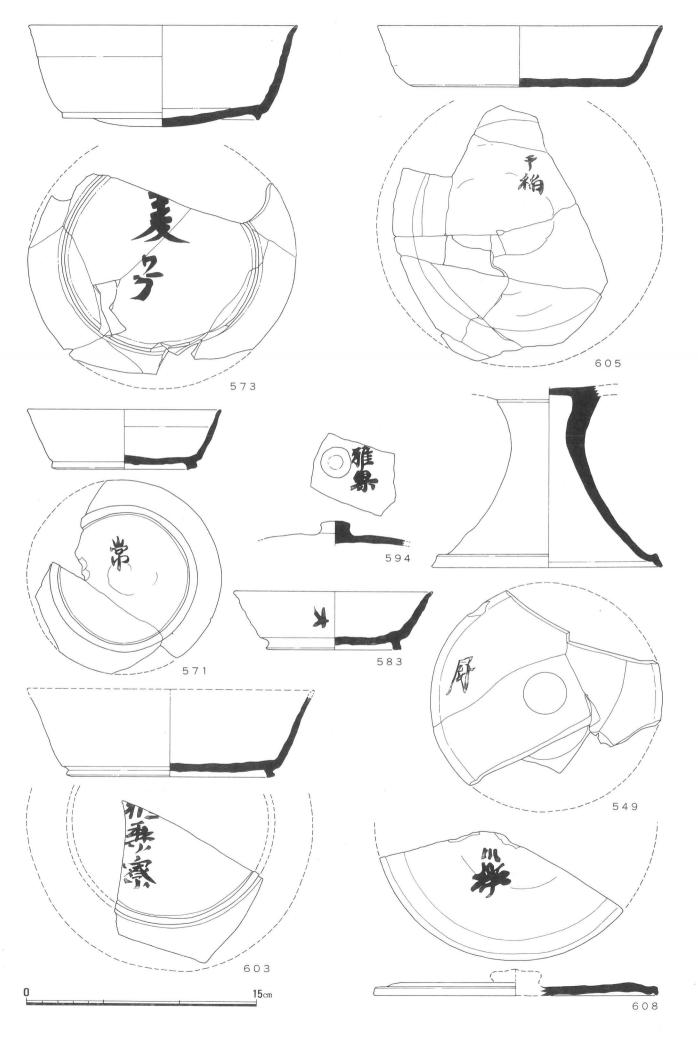


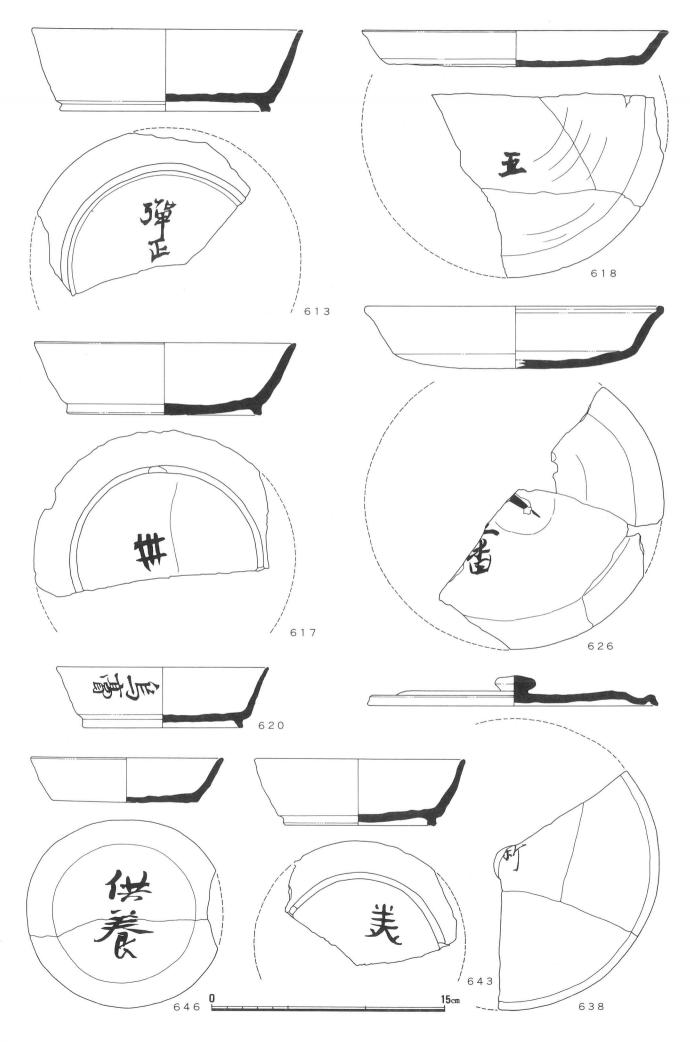


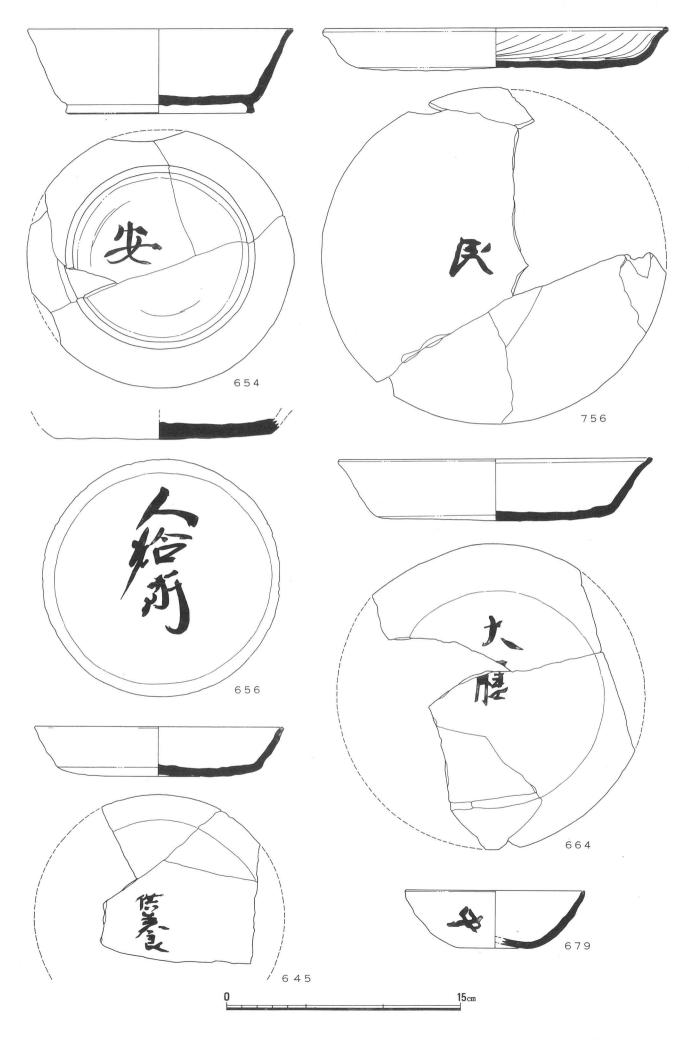


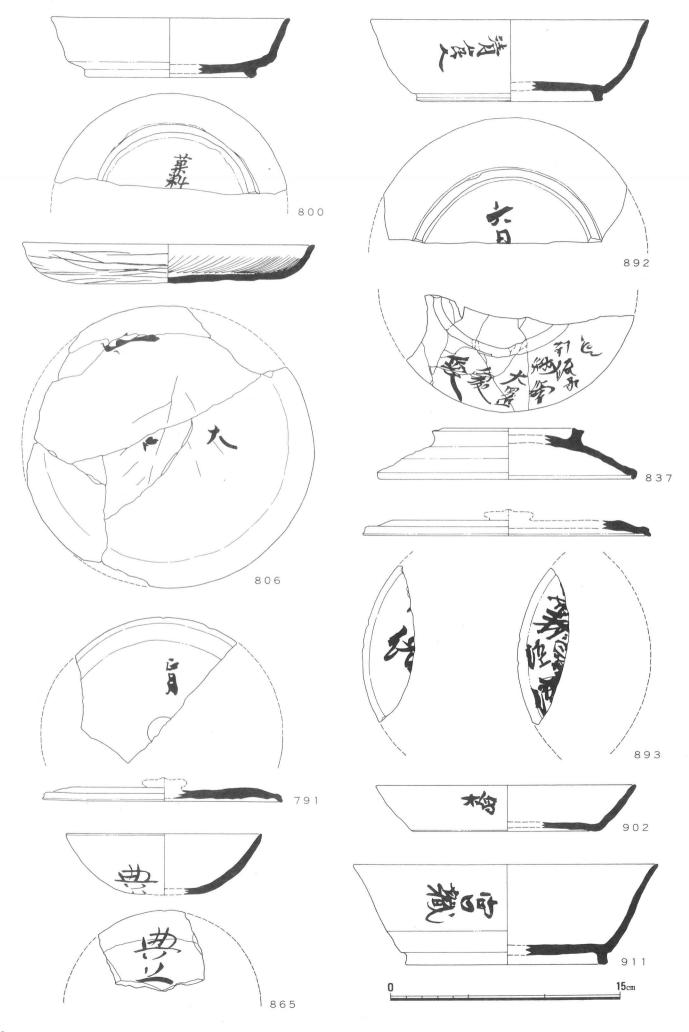


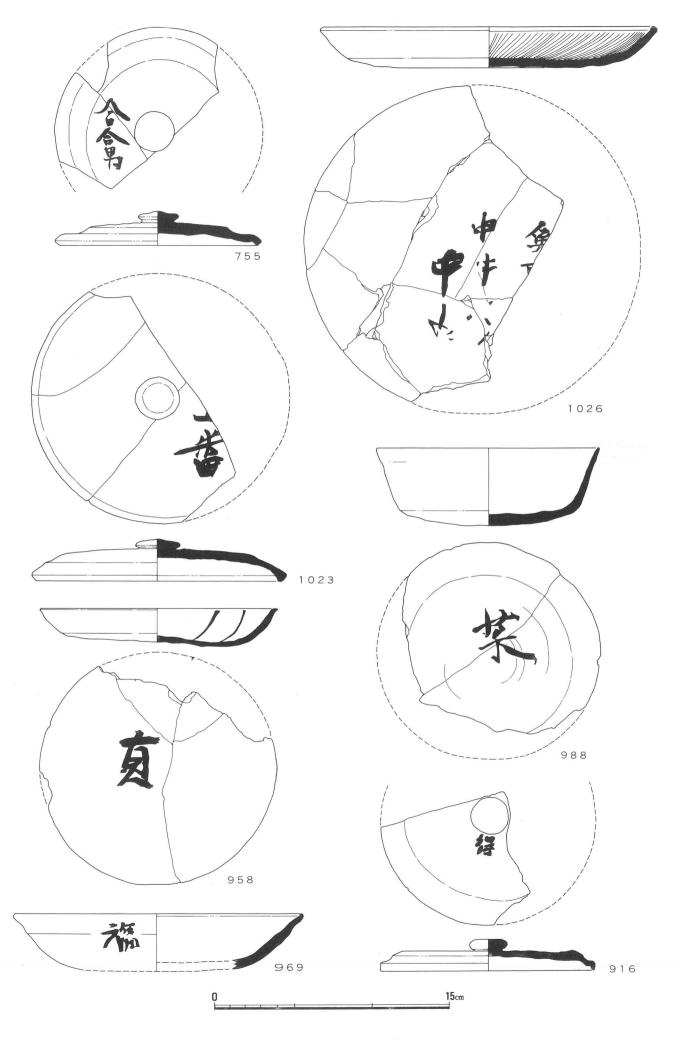


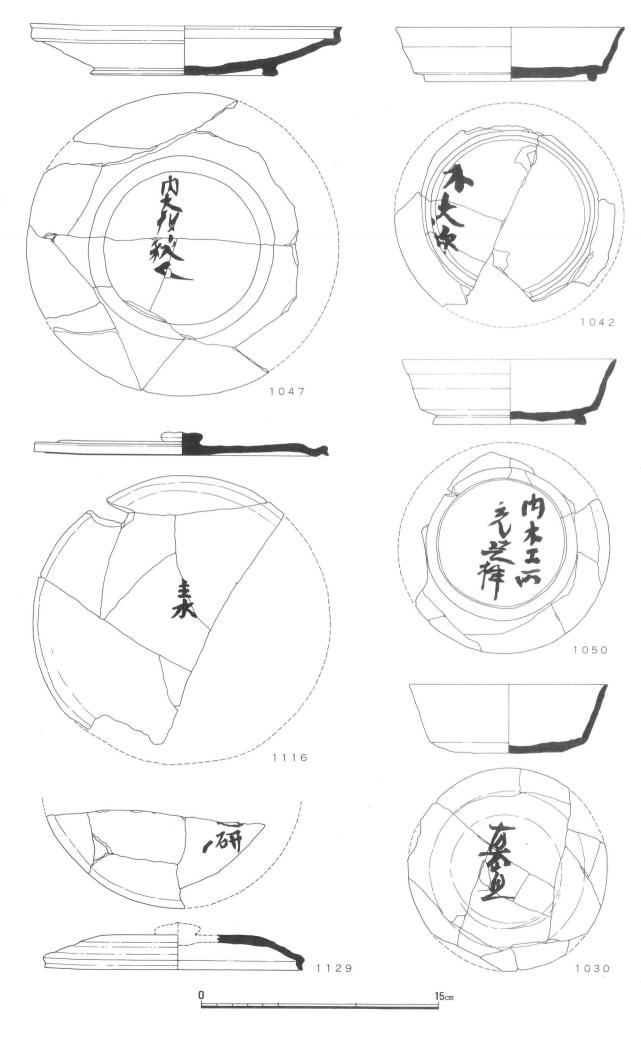












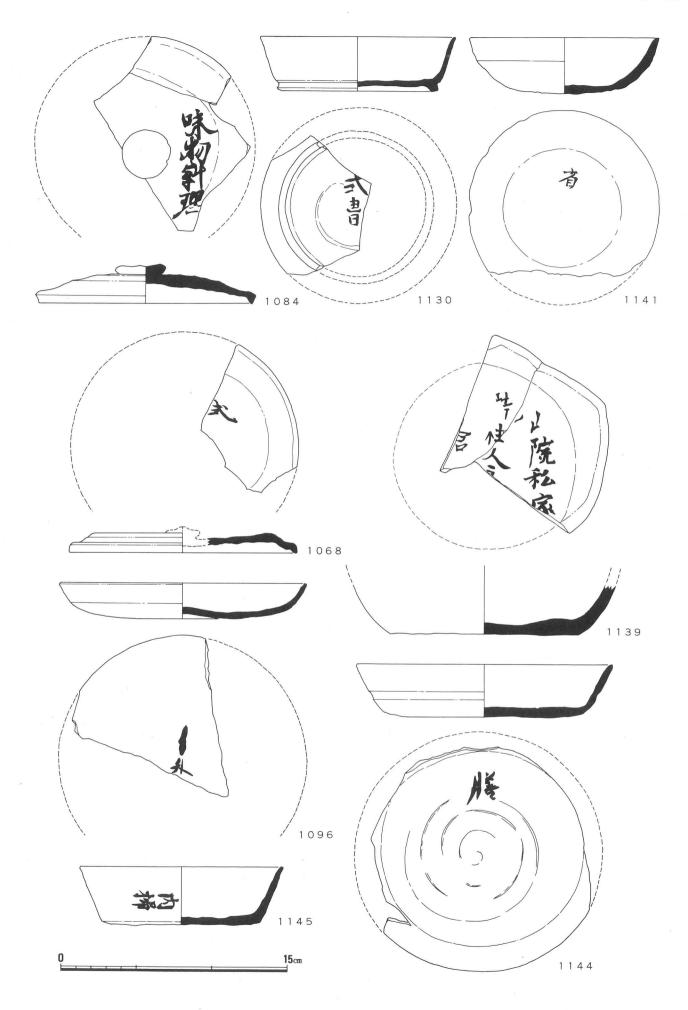


図 版



172



第104・122次

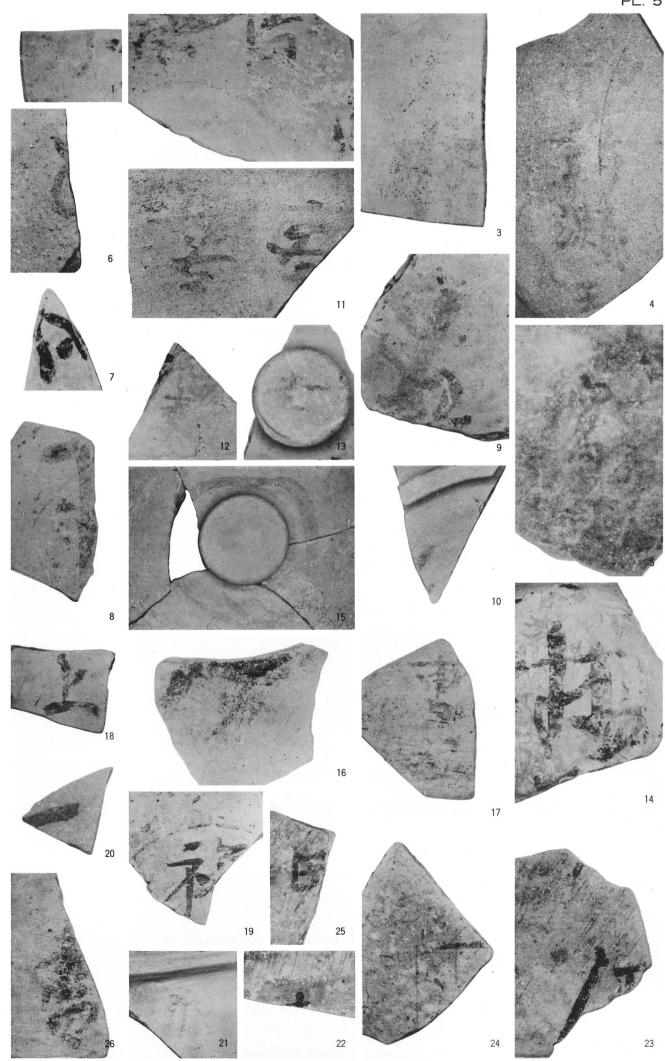
172 • 258



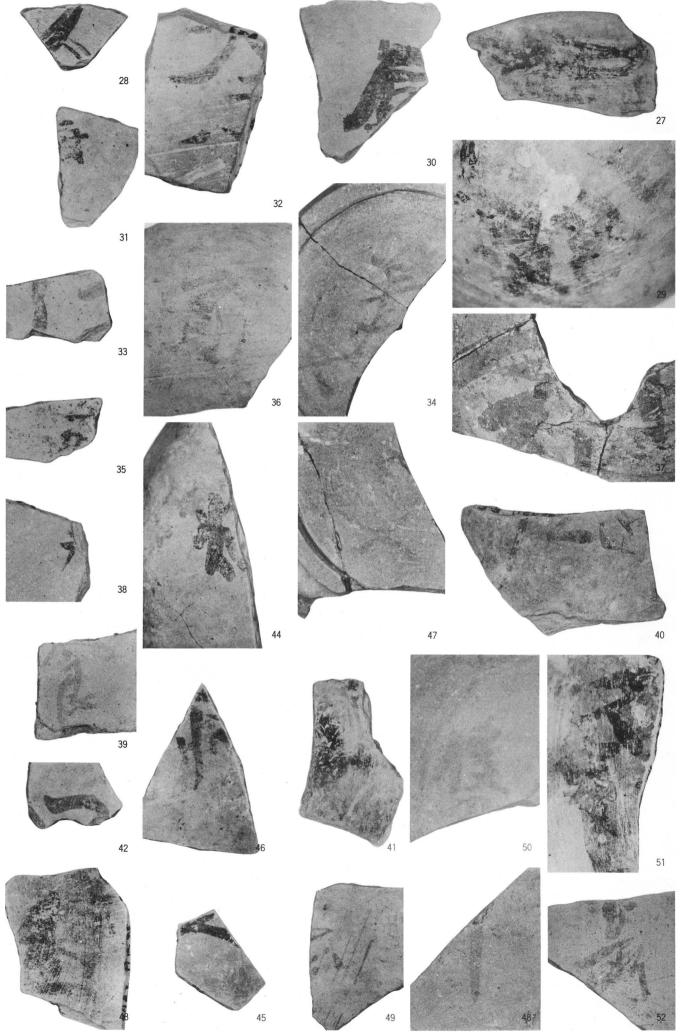


第128次



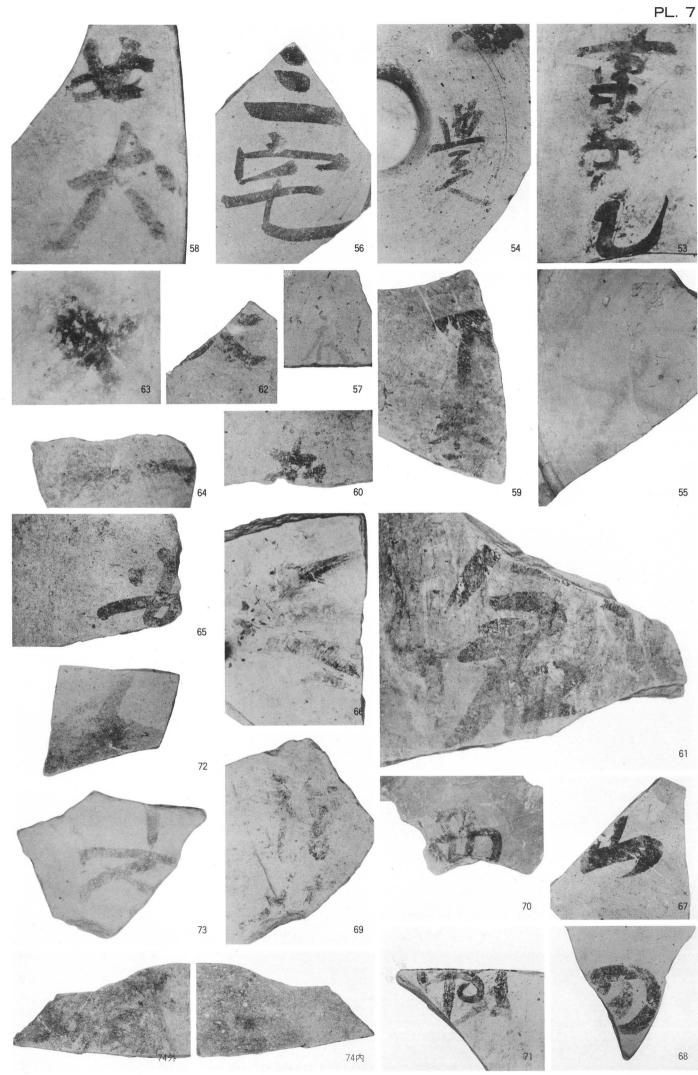


第4·6·20·21次,第22次南,第28·29次



第29・32次 第32次補足 第102次

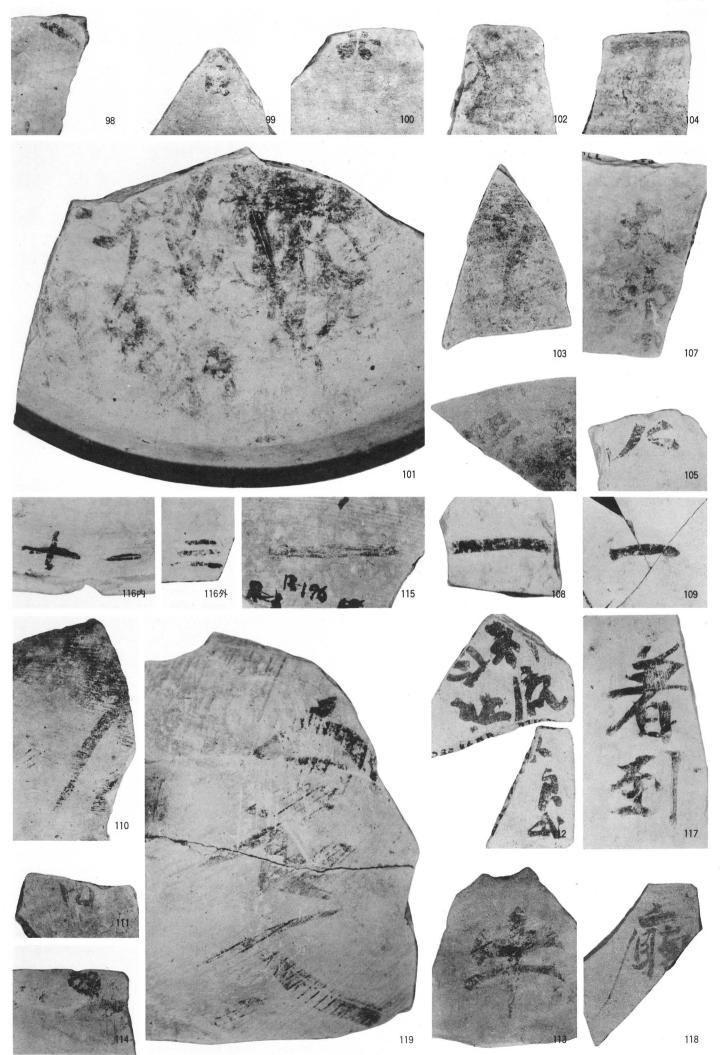
27~.50



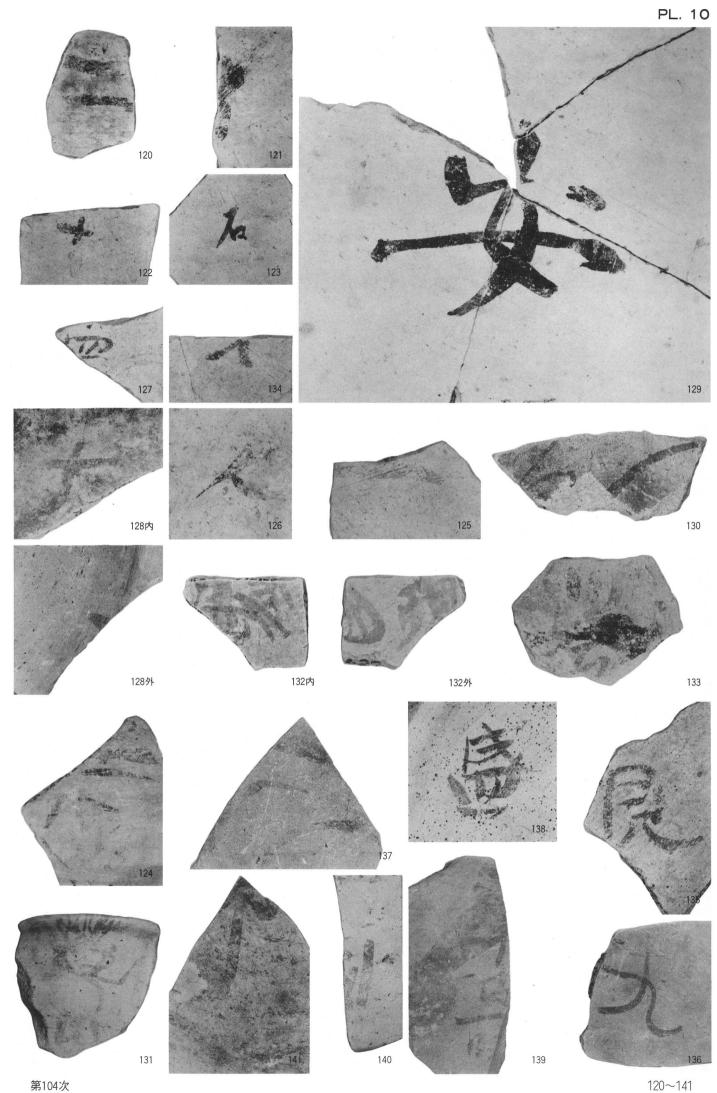
第102・104次

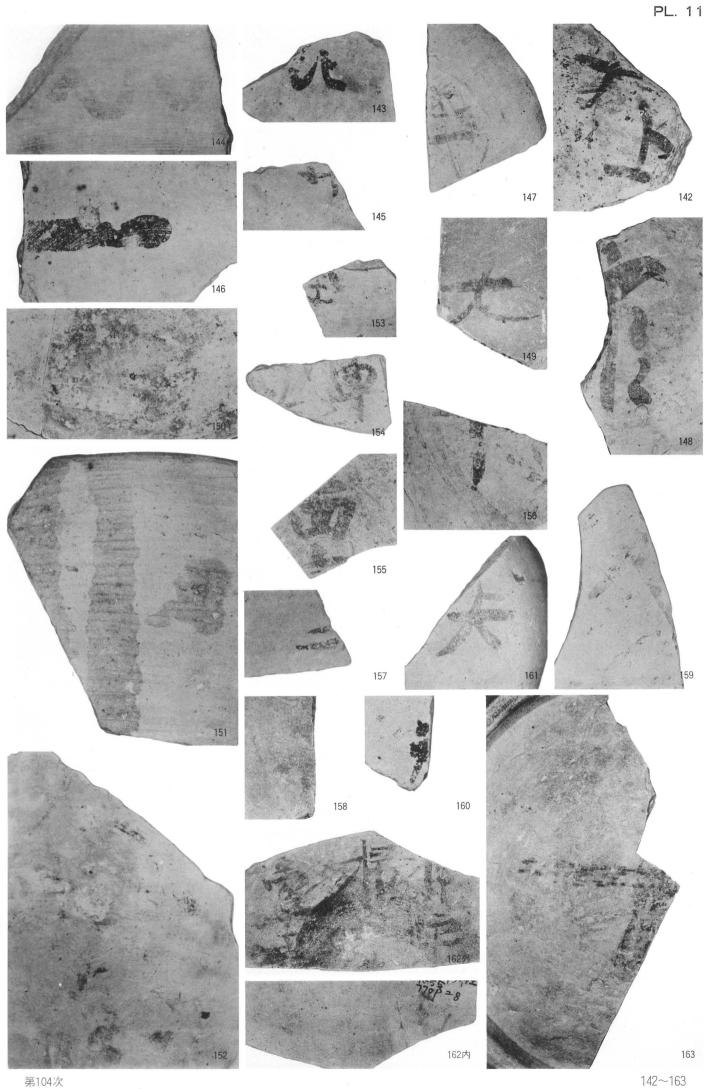
53~74





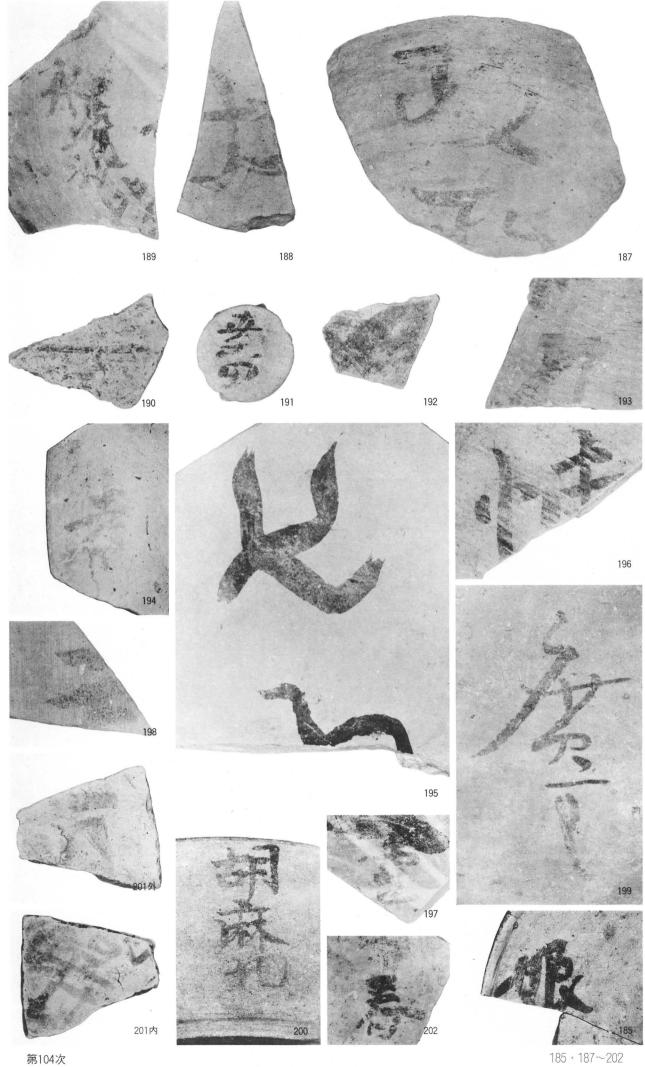
第104次



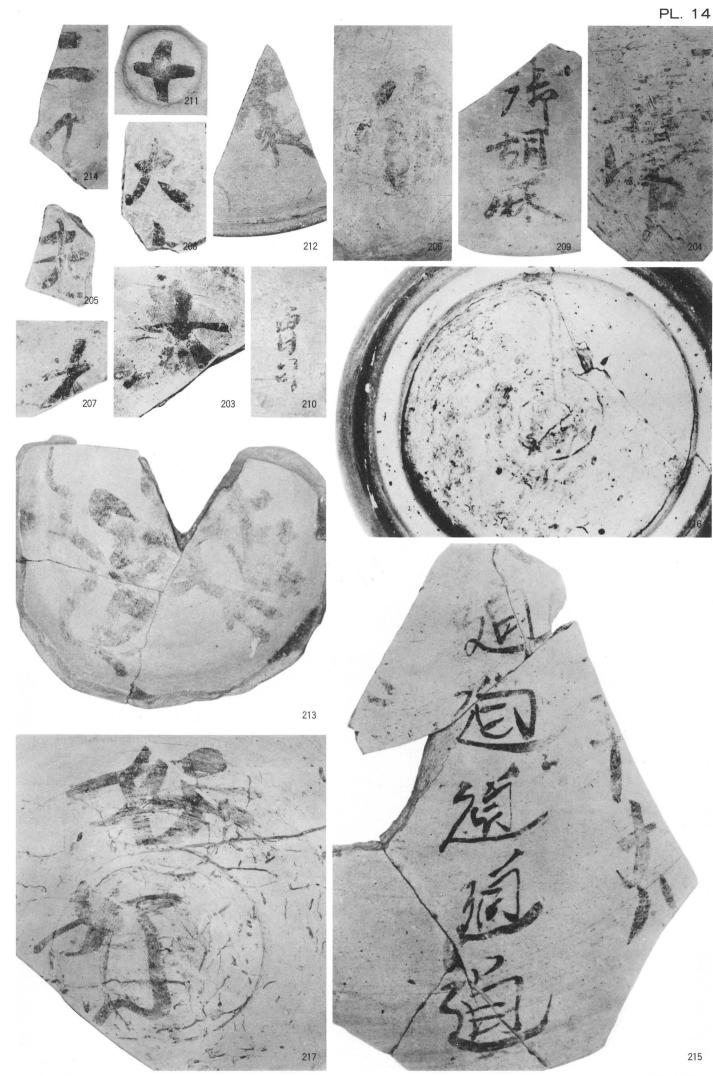




164~171 • 173~184 • 186



185 • 187~202



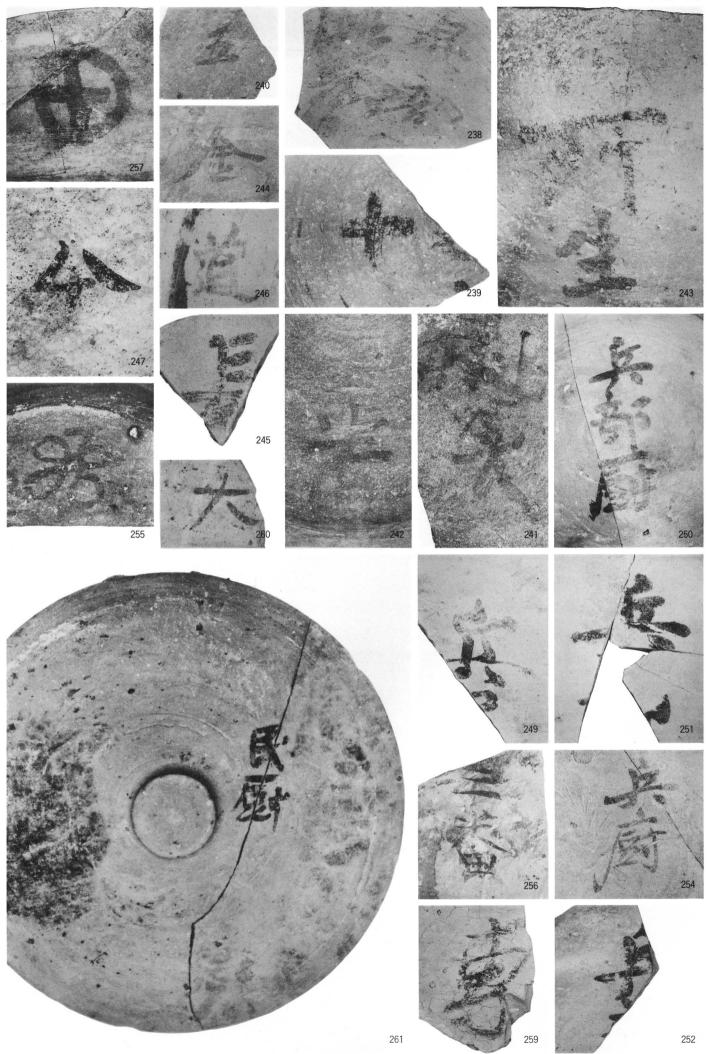
第104次



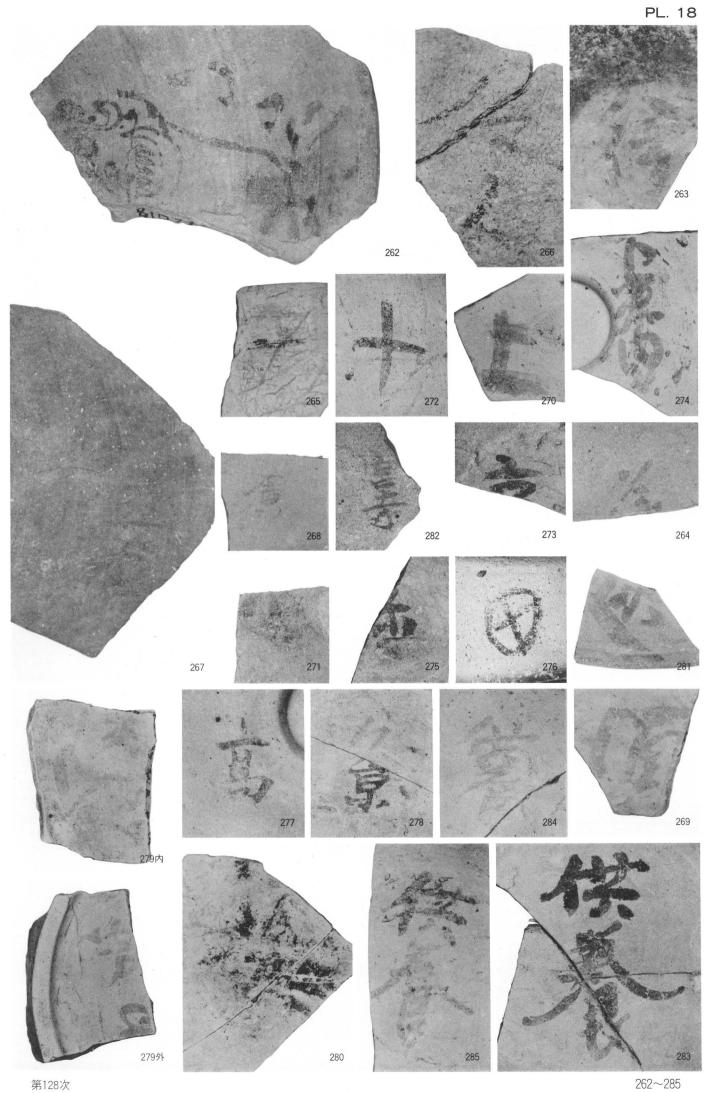


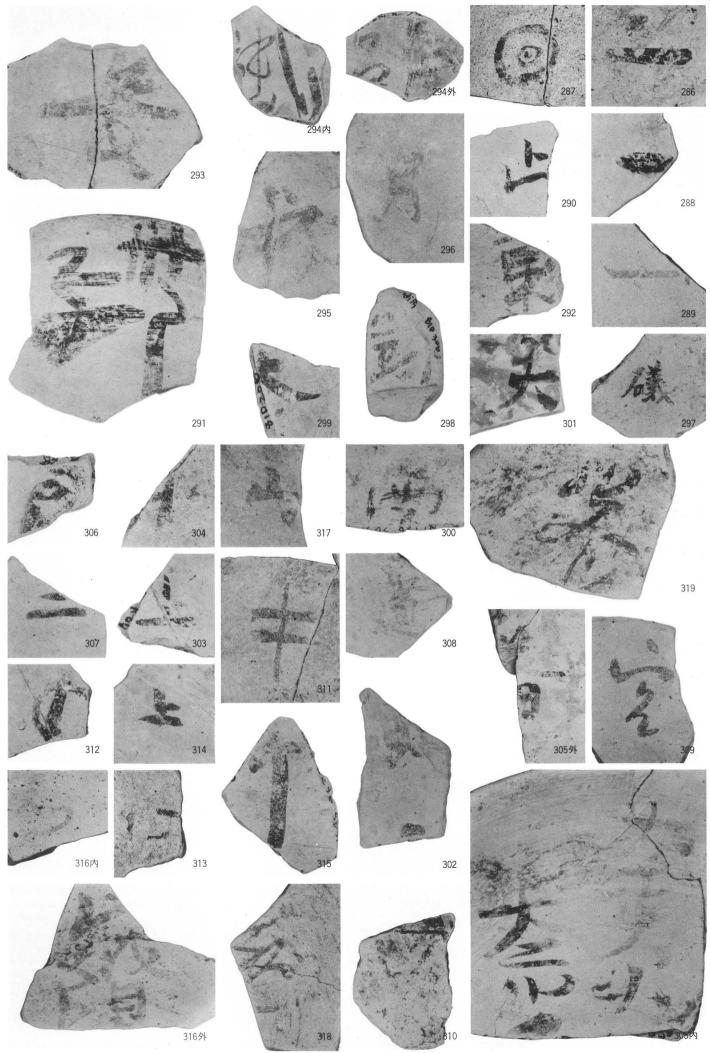


第111次



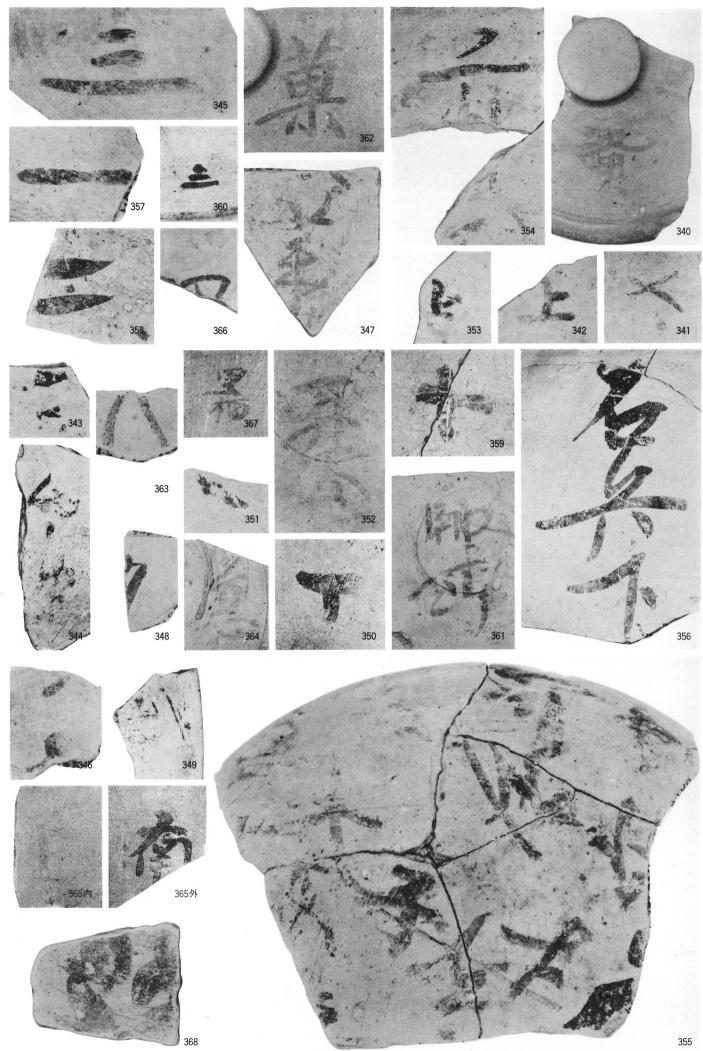
第120·122次 238~247·249~252·254~257·259~261



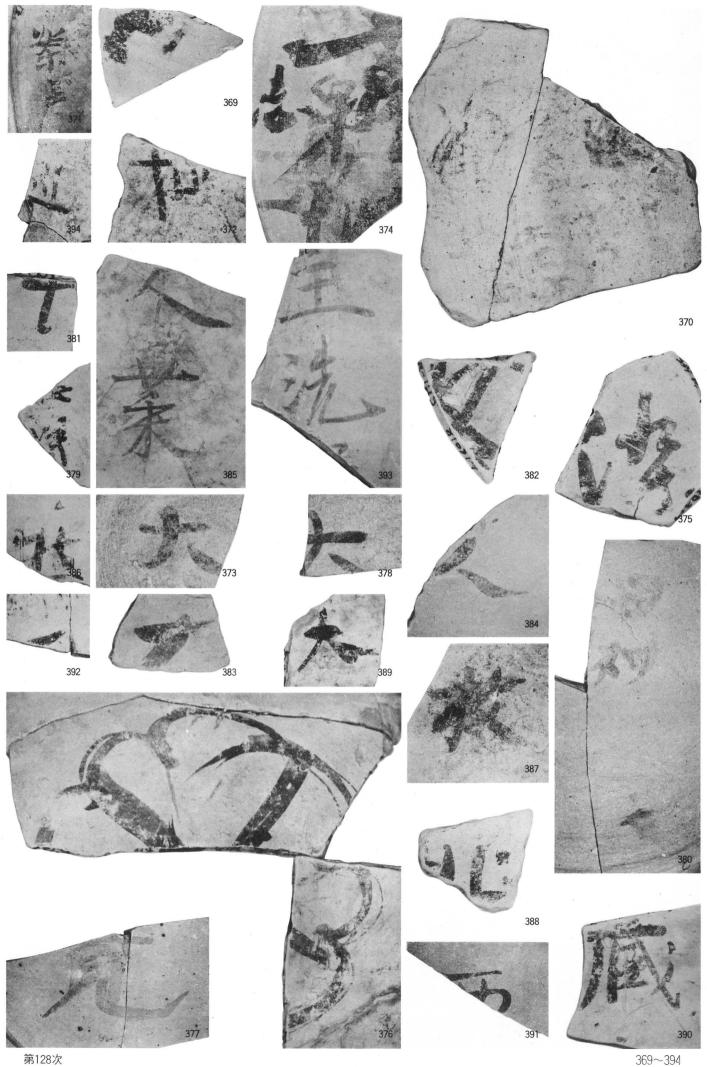


第128次

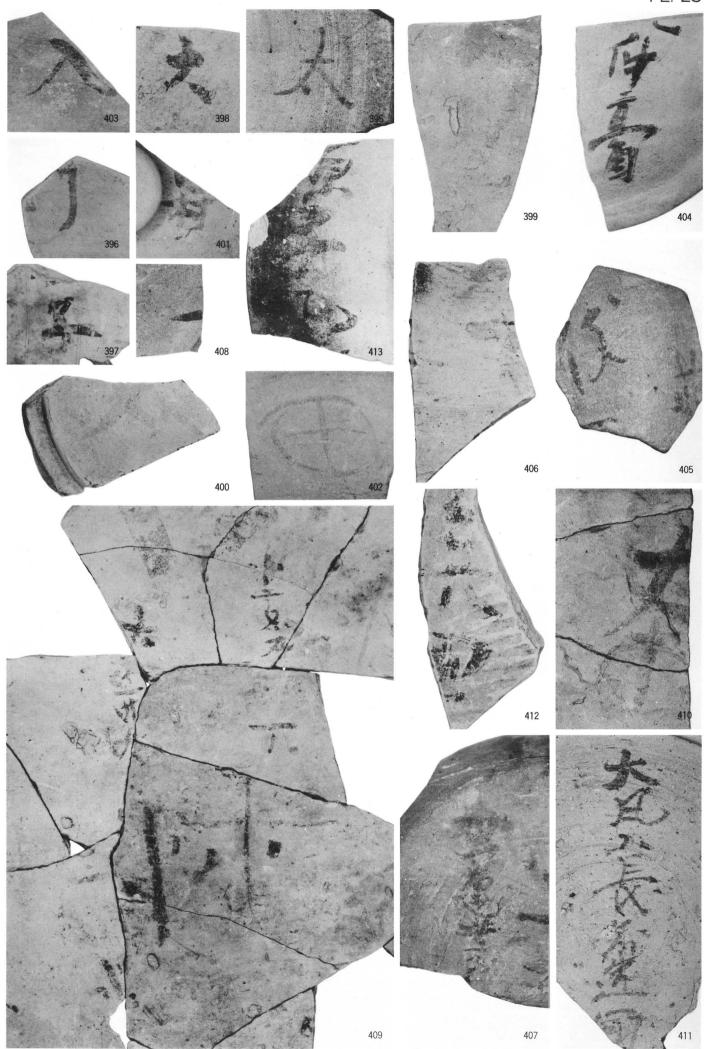
286~319



第128次

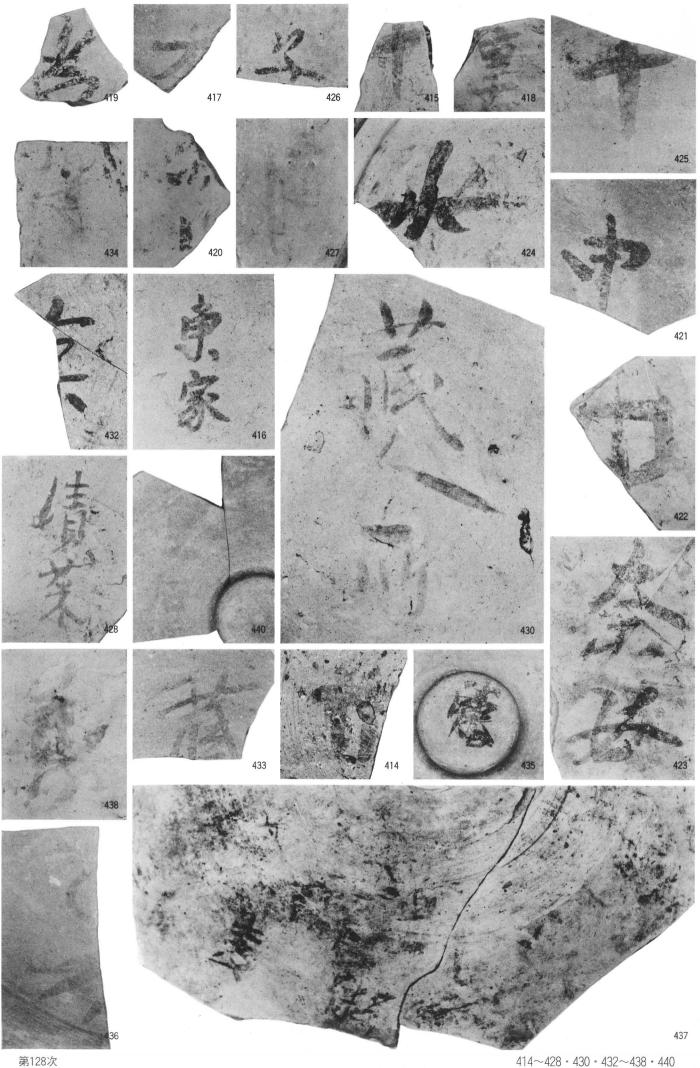


369~394



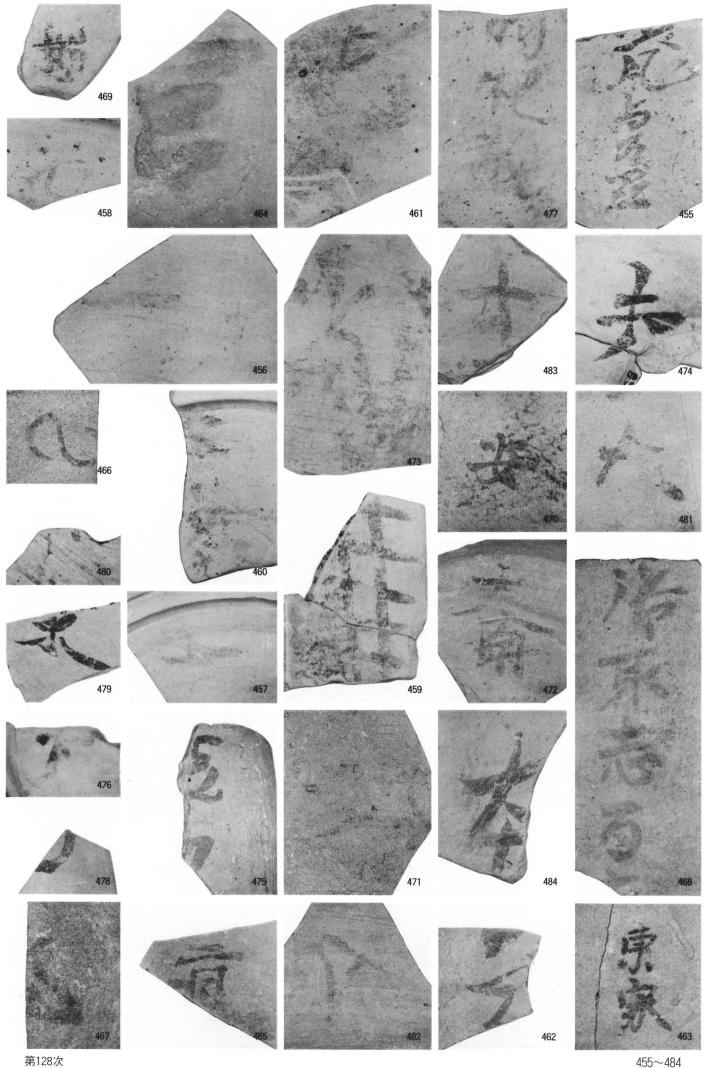
第128次

395~413

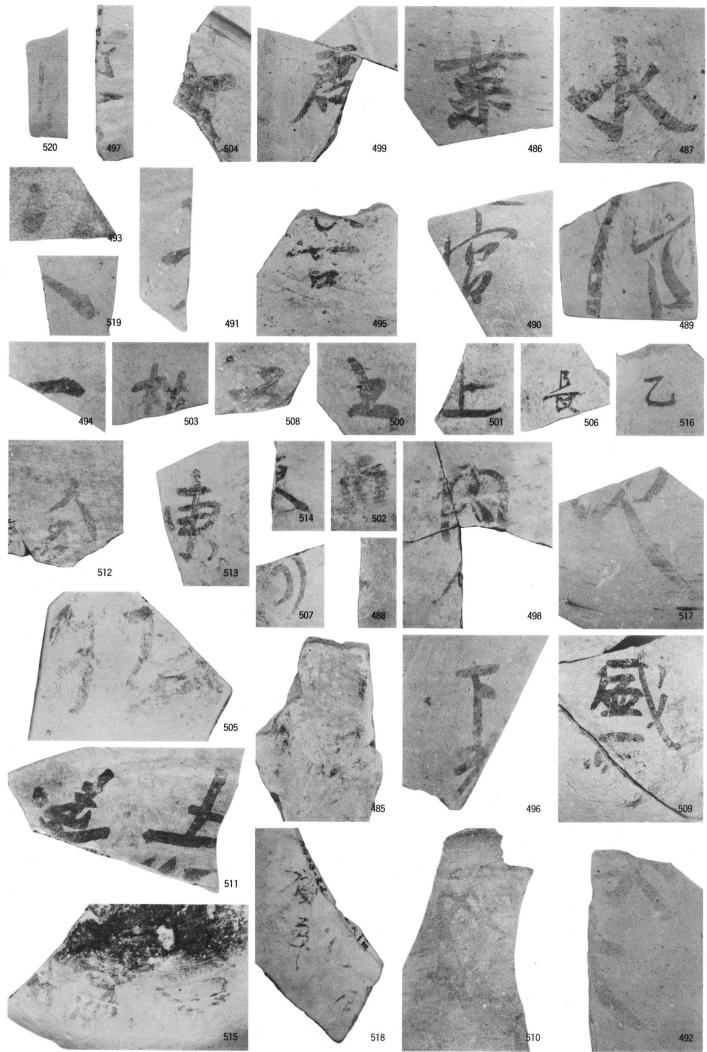


414~428 • 430 • 432~438 • 440

439 • 441~454

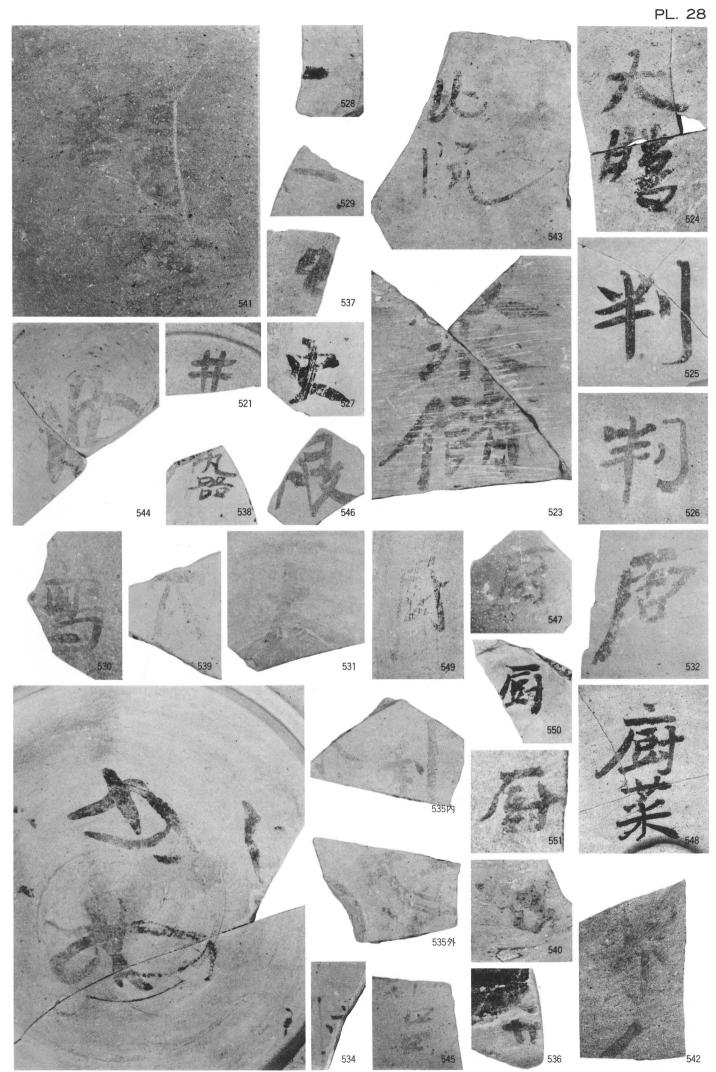


455~484



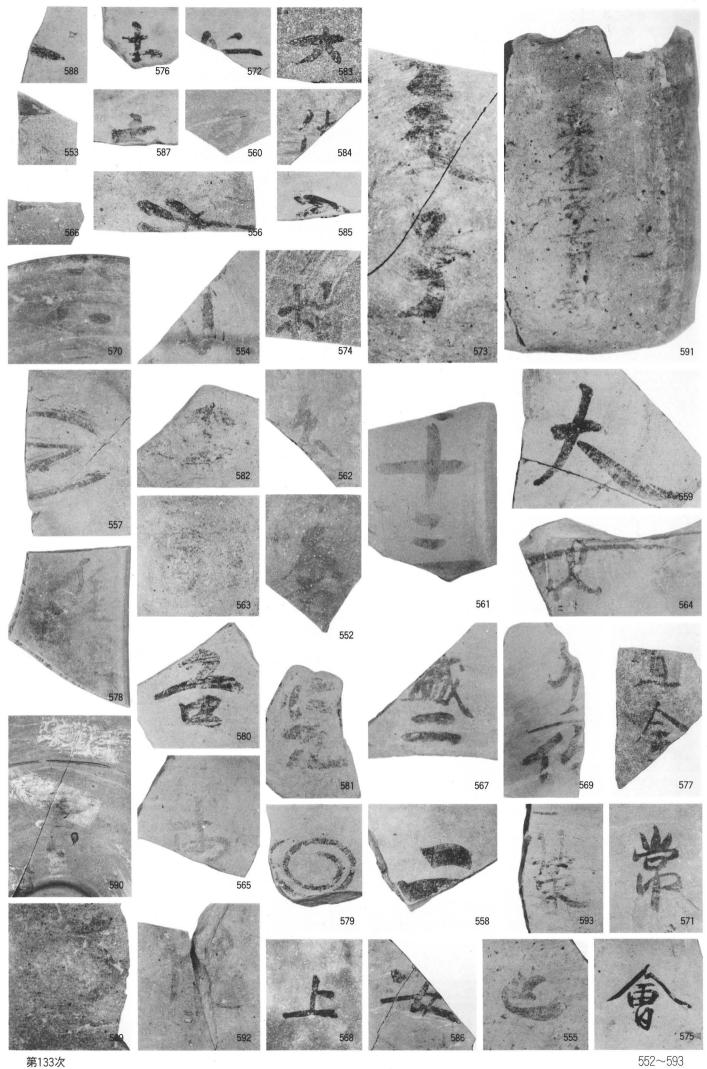
第128・129次

485~520

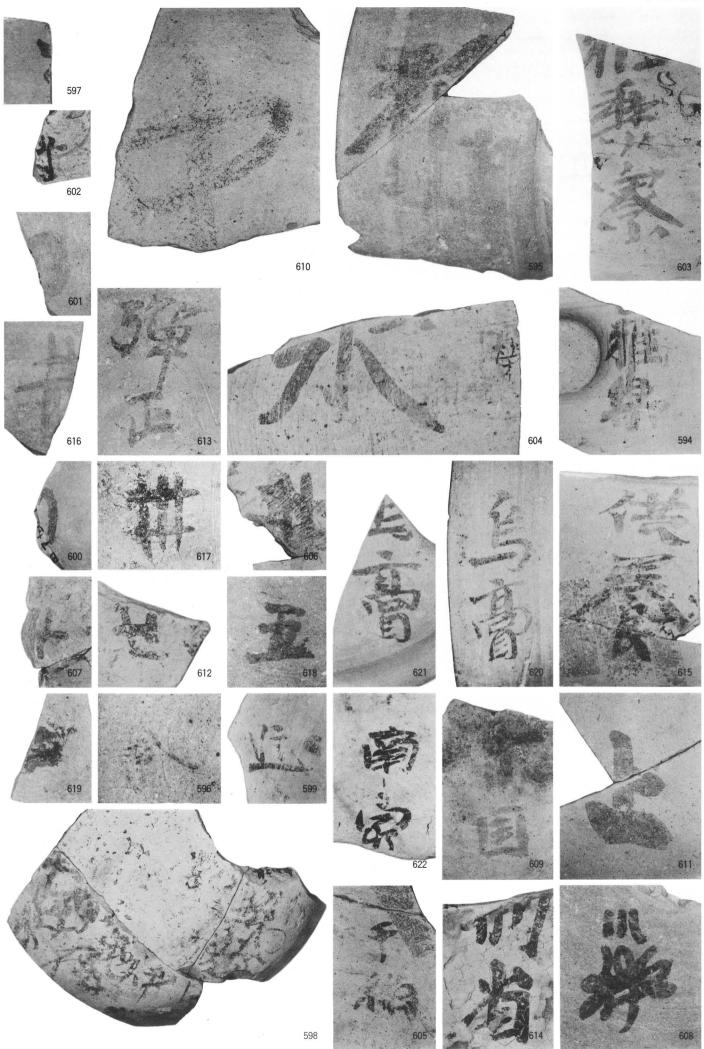


第129・133次

521 • 523~551

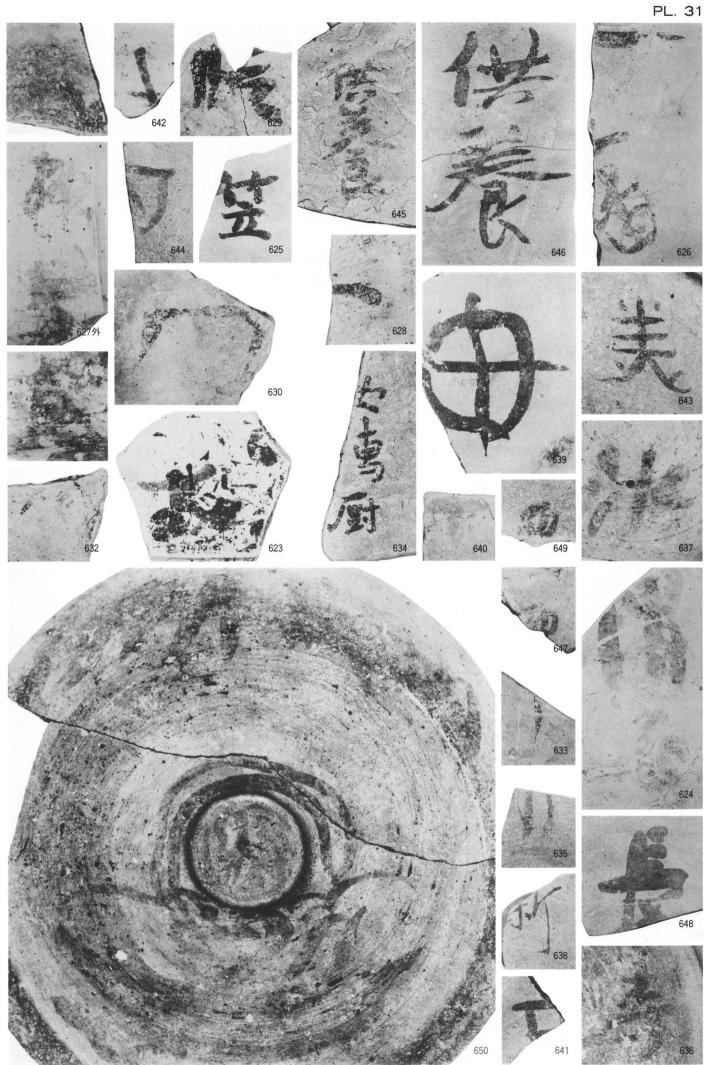


552~593



第133・136・139次

594~622

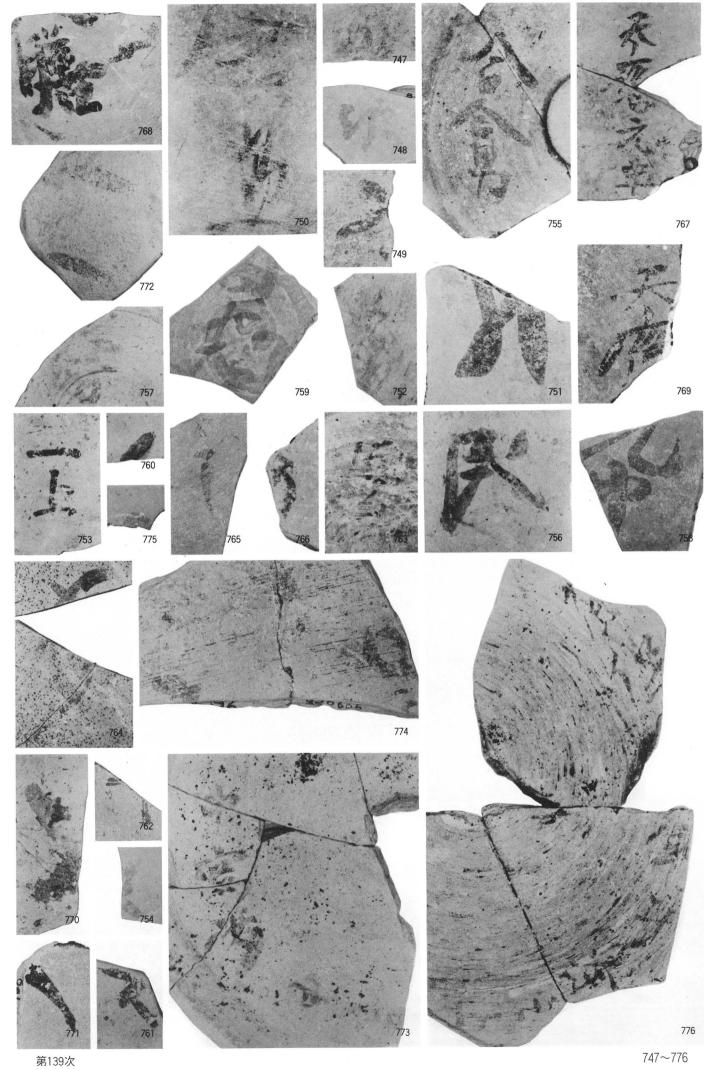


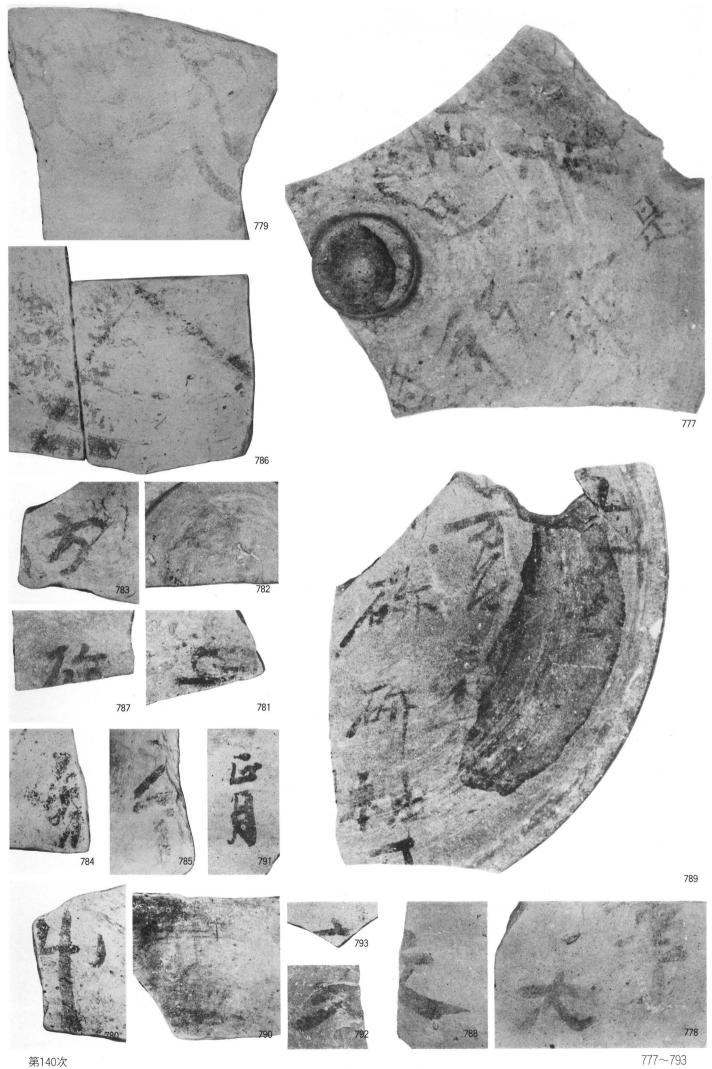
623~650

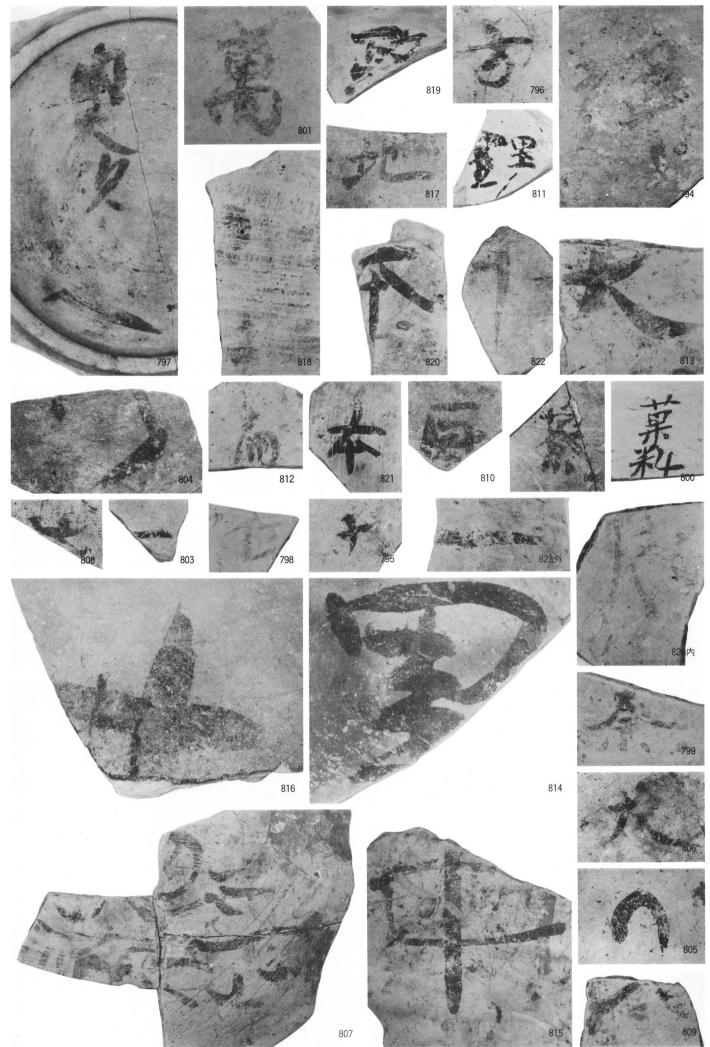
第139次



651~670

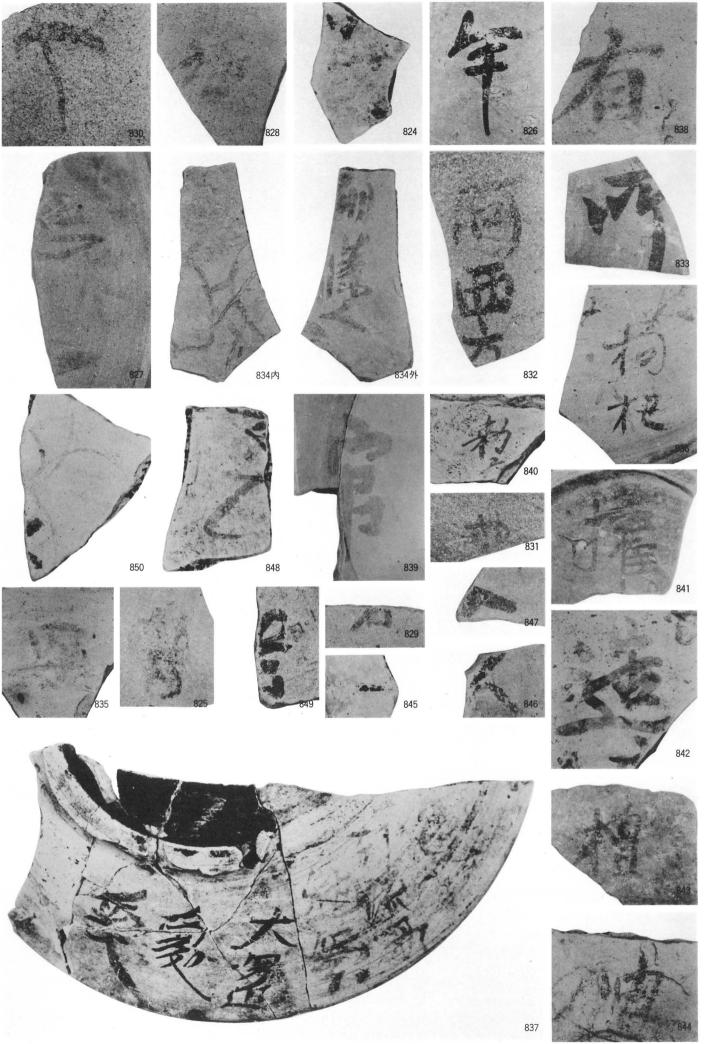






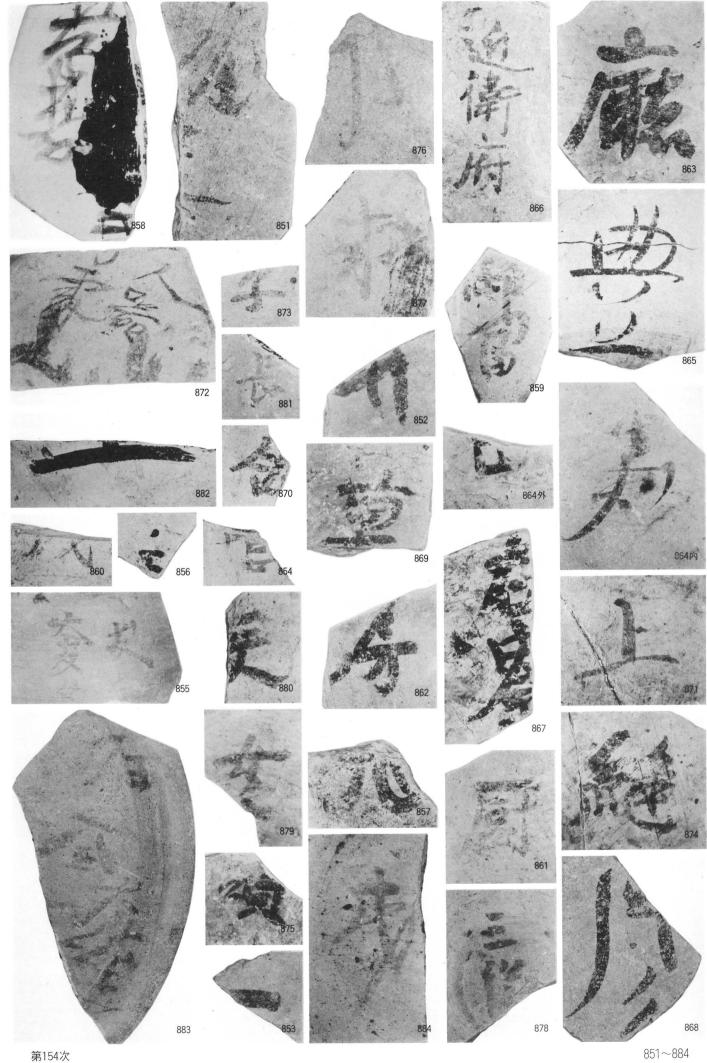
第140・146・153・154次

794~823



824~850

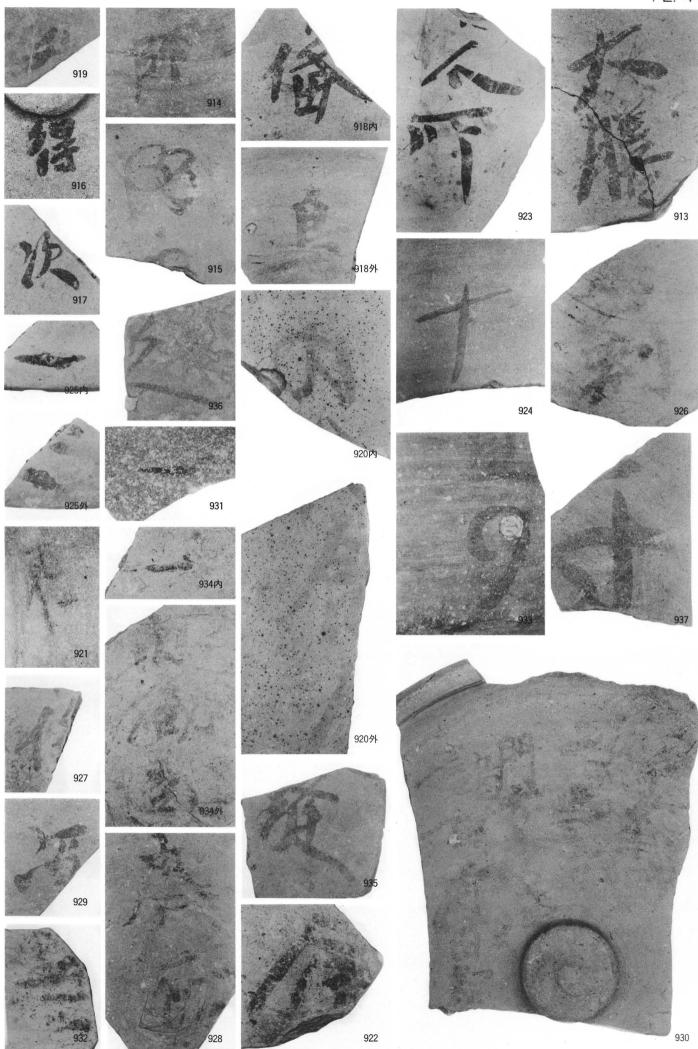
第154次



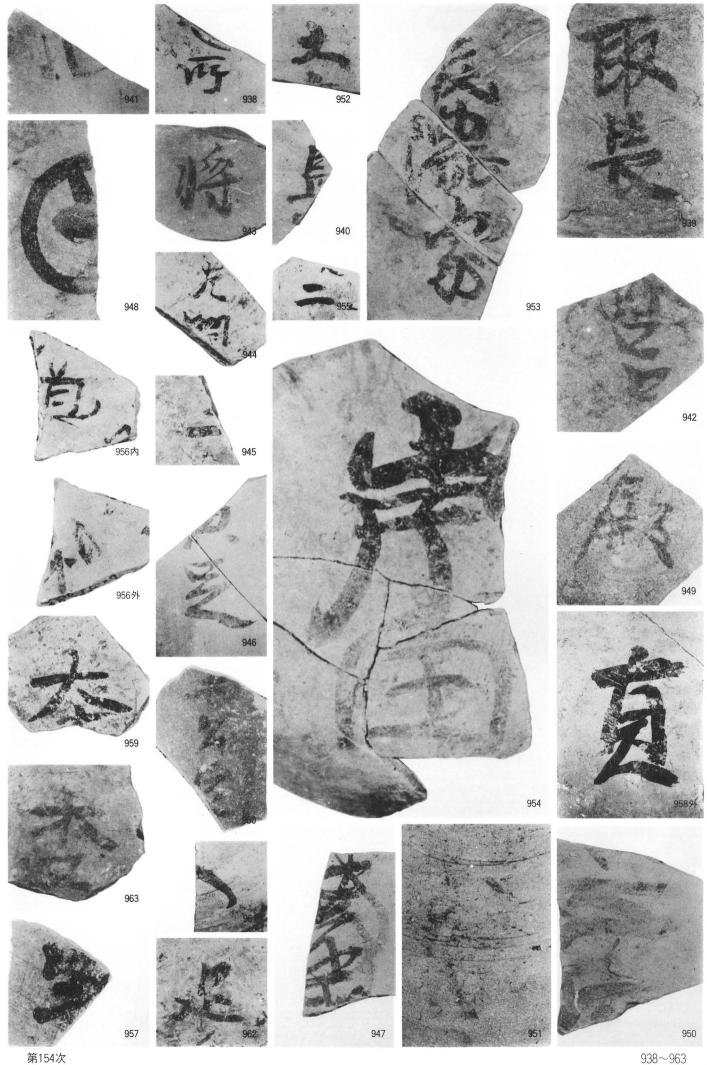
851~884

第154次

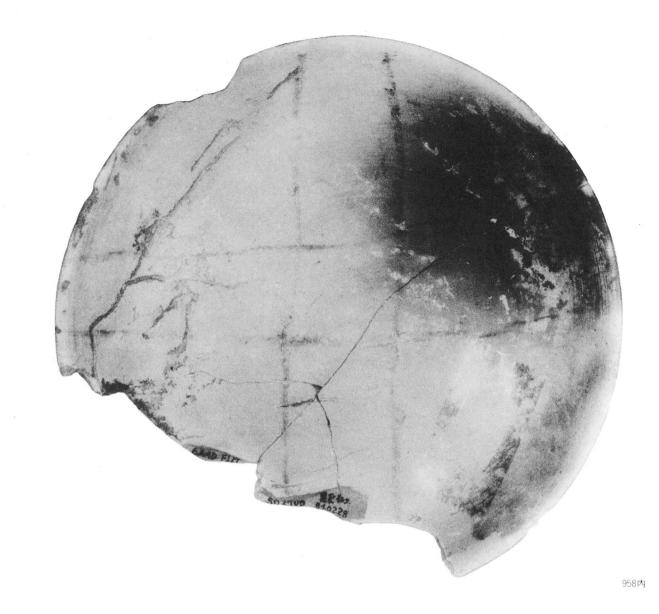
885~912



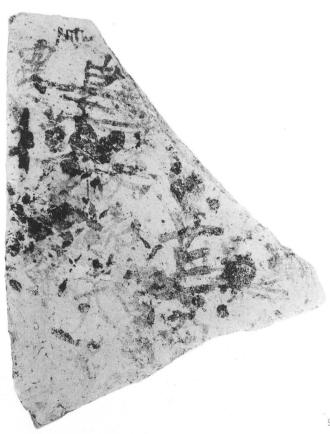
第154次



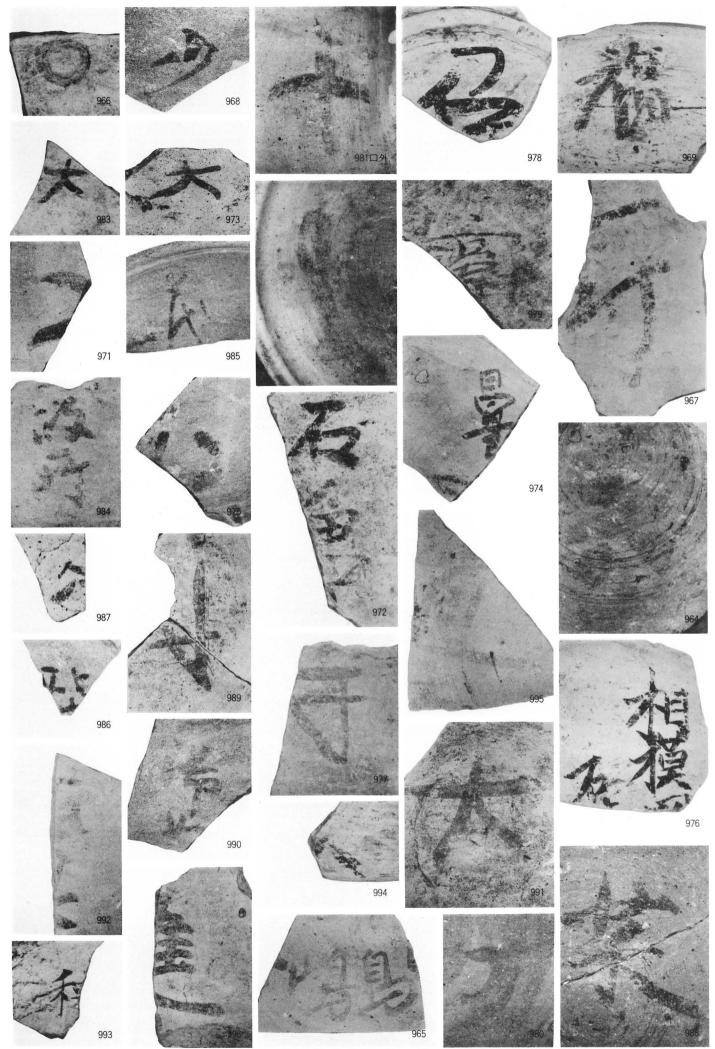
938~963







第154次



第154次

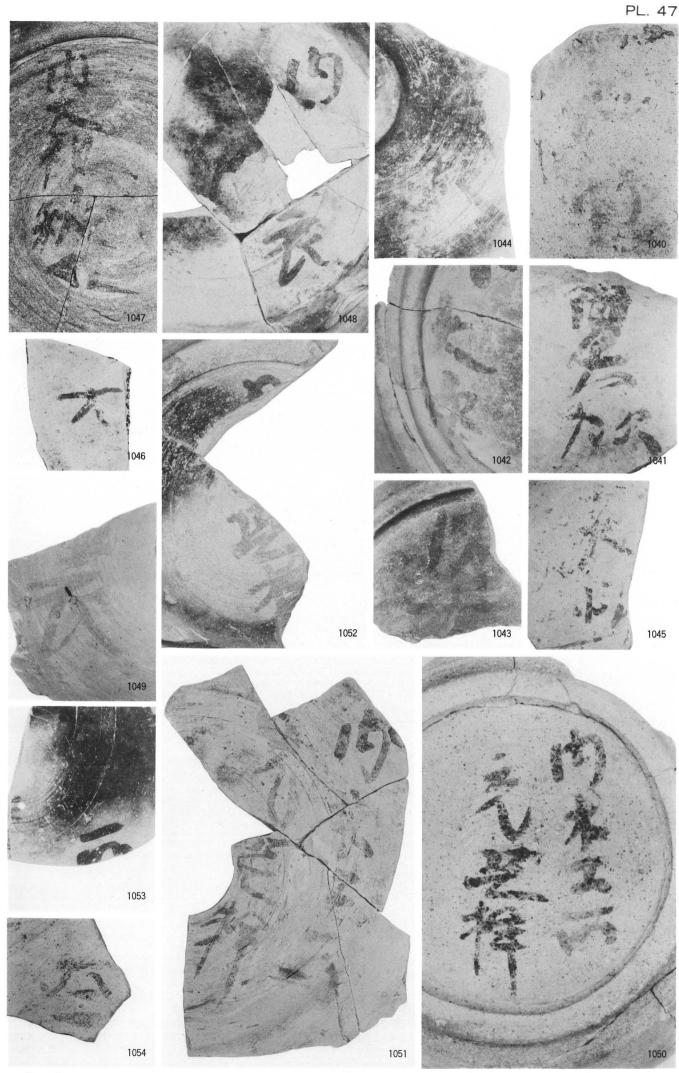
964~969 • 971~981 • 983~996





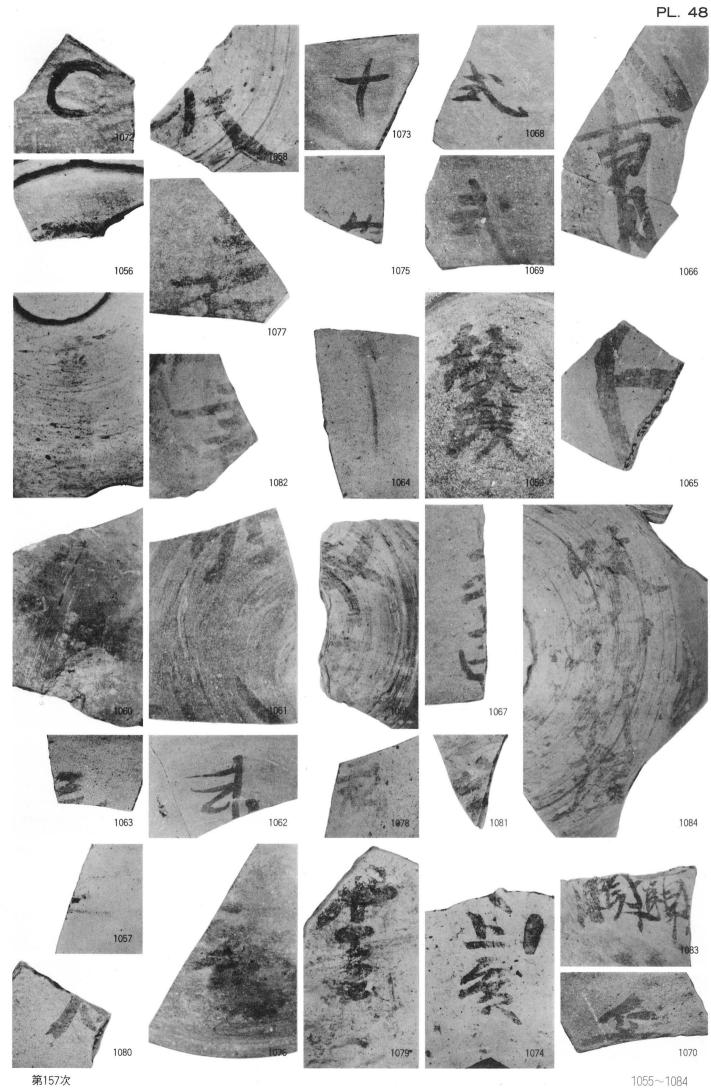
第155・157次

1024~1039



第157次

1040~1054

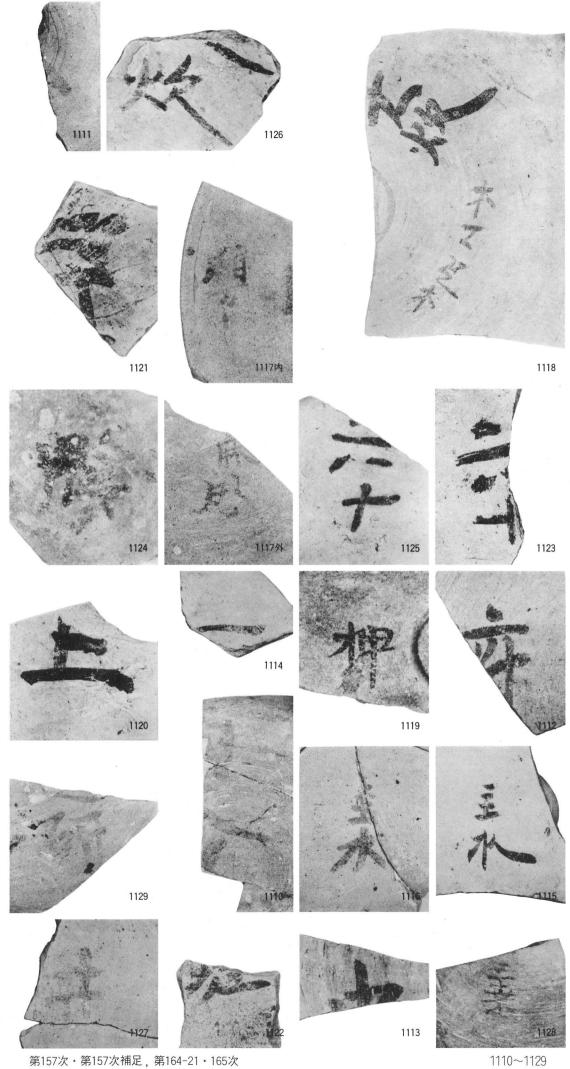


1055~1084

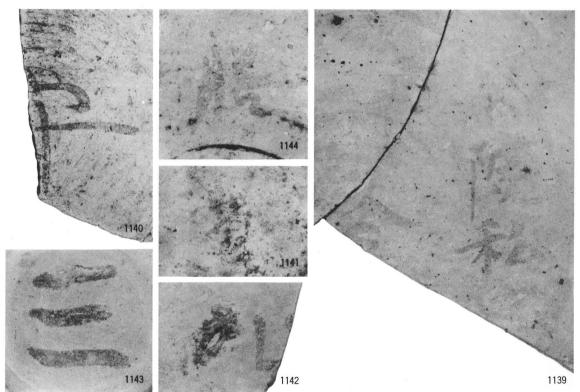


第157次

1085~1109



1110~1129



第165・167次,溝辺資料

1130~1144

平成1年3月25日 印刷 平成1年3月31日 発行

奈良国立文化財研究所史料 第31冊 平城宮出土墨書土器集成 II

著所発 作有者 奈良市二条町2丁目9番1号 奈良国立文化財研究所

京都市下京区油小路仏光寺上ル

印刷者

有限 真会社

陽社

